

ProScan

ANTIVIRUS

PSMT バージョン 2.0

ProScan 管理ツール 管理者ガイド

promark

株式会社プロマーク
2025年3月 第9版

目次

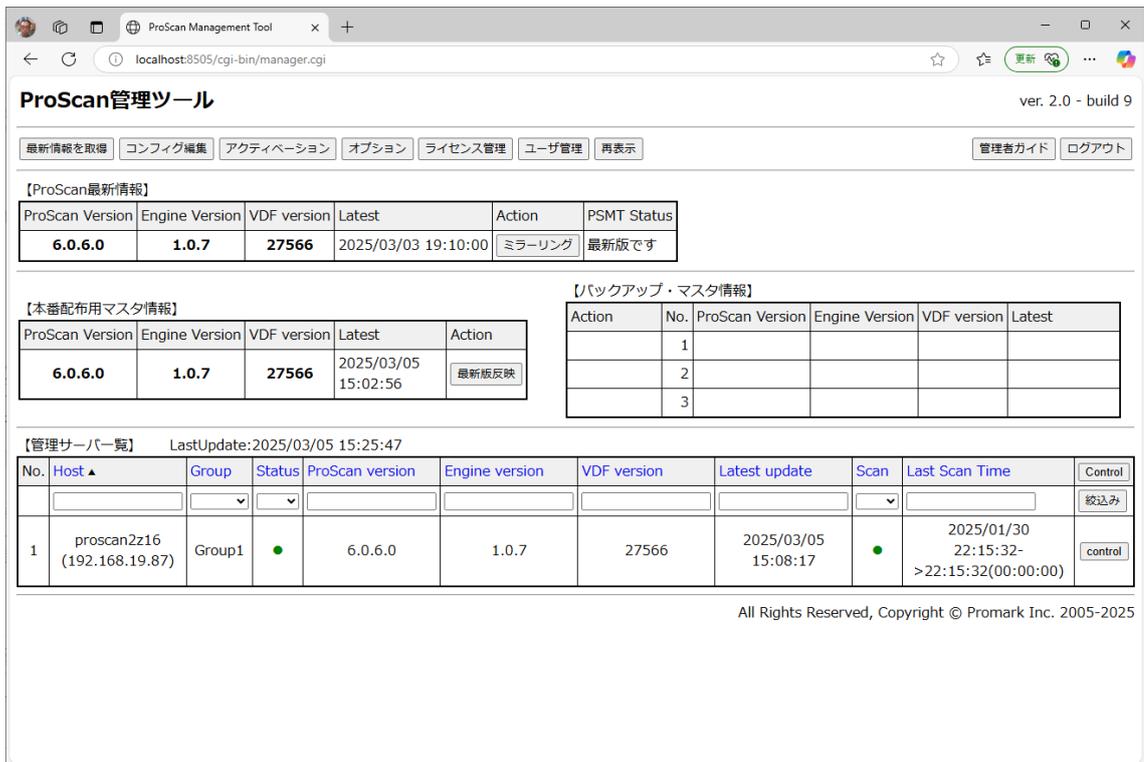
1	はじめに.....	1
2	セットアップ.....	2
2.1	パッケージの入手.....	2
2.2	Web サーバ環境の設定.....	2
2.3	パッケージインストールの前に.....	3
2.4	管理ツール(manager)のインストール.....	3
2.5	アップデートデータのミラーリング.....	4
2.6	アップデートデータの反映.....	5
2.7	PSMT の設定.....	6
2.8	エージェント(agent)のインストール.....	7
3	初期設定.....	8
3.1	ログイン.....	8
3.2	ライセンスの登録.....	9
3.3	グループの作成.....	11
3.4	設定ファイルの作成.....	12
3.5	クライアント(agent)の登録 (アクティベーション).....	15
3.6	クライアントの状態確認.....	16
4	ProScan 操作.....	17
4.1	スキャン.....	18
4.2	VDF アップデート.....	20
4.3	ロールバック.....	21
4.4	ライセンス更新.....	22
4.5	コンフィグ反映.....	23
4.6	スケジュール変更.....	24
4.7	エージェント更新.....	25
4.8	ディアクティベート.....	26
4.9	一括処理.....	26
5	PSMT 操作.....	27
5.1	初期画面.....	27
5.2	ミラーリング.....	28
5.2.1	ミラーリングの詳細機能.....	29
5.2.2	Proxy 経由のミラーリング.....	29
5.3	最新版反映.....	30
5.4	最新情報取得.....	31
5.5	コンフィグ編集.....	32
5.6	アクティベーション.....	38
5.7	オプション.....	40
5.7.1	管理パスワード設定.....	40
5.7.2	グループ設定.....	41
5.7.3	ACL 設定.....	43
5.8	ライセンス管理.....	43
5.9	ユーザ管理.....	45
5.10	再表示.....	47
5.11	管理者ガイド.....	47
5.12	ログアウト.....	47
5.13	ロールバック.....	47
5.14	一覧表示.....	50
5.14.1	絞込み機能.....	51
5.14.2	クライアント管理機能.....	53
6	自動処理.....	56
6.1	定期アップデート.....	56

6.2 定時スキャン	56
付録 A. AIX サーバへのインストール準備	57
付録 B. クローズ環境でのミラーリングデータ取得方法	59
付録 C. PSMT の概要	61
付録 D. プロトコル概要	63
付録 E. 推奨サーバスペック	64
付録 F. お問い合わせ先	65

1 はじめに

本ツール(以降 PSMT という)は、ProScan enterprise for IBM Z バージョン 6.0.6 を管理するためのものです。Web インターフェースを使い、手元の PC からブラウザ経由での管理が可能となります。複数の ProScan を管理することが可能となり、運用コストを下げる事が可能となります。

PSMT は、System Z 環境ならびに IA サーバ上の Linux サーバで動作し、Web サーバとして apache2 を使うことを前提としています。



PSMT は CGI によりサーバサイドで動作しますので、PC 環境に特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。端末 PC は、ACL (アクセスコントロールリスト) 機能により、制限をかけることが可能です。また、ID/PASSWOD による認証を行うことで、利用者の制限も可能となっています。

2 セットアップ

この章では、PSMT の導入方法について説明します。

2.1 パッケージの入手

PSMT はマネージャとエージェントの2つのパッケージが必要となります。管理サーバ側にはマネージャ用パッケージを、ProScan 側にはエージェント用パッケージを使用します。それぞれのパッケージは、弊社 Web サーバに用意してありますので、以下の URL よりダウンロードを行ってください。

なお、現時点の最新版はバージョン 2.0.9 となっています。

※同一バージョンでもビルド番号が異なる場合があります。その場合は、より大きなビルド番号が最新となります。

- ・ マネージャ用パッケージ

http://www.promark-inc.com/download/PSMT2.0/psmt_2.0.9-manager-pkg.tar.gz

- ・ エージェント用パッケージ

http://www.promark-inc.com/download/PSMT2.0/psmt_2.0.9-agent-pkg.tar.gz

パッケージは、System Z 版と IA Linux 版は同じものになります。インストール時に、自動的にアーキテクチャを判断して、適切なモジュールがインストールされます。(現在サポートしているのは、s390x と x86_64 のみとなります。)

※パッケージのダウンロードがうまくいかない場合には、弊社サポートまでご連絡ください。

入手したファイルは、マネージャは管理サーバに、エージェントは各 ProScan を導入するサーバに置いておいてください。以降のインストール作業で使用します。

2.2 Web サーバ環境の設定

管理ツールのインストールを行う前に、Web サーバの環境設定を行います。(Web サーバの推奨スペックについては付録 E を参照ください)ここでは、特に説明を行いませんが、apache2 が動作するところまで実施してください。管理サーバの推奨環境は Linux ディストリビューションで RedHat 系の OS となります。(開発は CentOS8 で行っています)

PSMT 用とは別に、アップデート用の httpd も必要となります。こちらはデフォルトの設定(ドキュメントルートが/var/www/htmlとなっていることが前提です。AIX では/var/www/htdocsとなっている場合があります)ので若干の変更が必要です。)で OK です。2つの Web サーバが起動していることとなりますので、間違えないようにしてください。

管理ツールのマネージャソフトウェアは、シェルスクリプト、Perl スクリプト、C 言語プログラムで構成されています。シェルおよび Perl プログラムは OS 標準のもので構いませんが、Perl モジュールで標準以外で CGI.pmが必要となります。CGI.pmは yum 等のパッケージ管理ソフトで最新版を導入しておいてください。CGI.pmモジュールがインストールされているかどうかは、以下のコマンドで確認できます。

```
perl -e 'use CGI'
```

何もエラーが出なければ、インストールされています。Perl のバージョンは 5.8 以上でないとう動作しませんのでバージョンを確認しておいてください。OS のバージョンや Linu ディストリビューションmp違いで他に必要な Perl モジュールが必要になる場合がございます。PSMT では以下の Perl モジュールを使用しておりますので、必要に応じてインストールを行ってください。

- File::Copy

また、Linux システムに PSMT を導入する場合には、SELinux が有効となっていると CGI の動作や Web サーバの標準ポート以外での運用に支障をきたす場合がございますので、SELinux は無効にしてください。(運用ポリシー上、無効にできない場合には弊社サポートまでご連絡ください。)

2.3 パッケージインストールの前に

パッケージインストール前に、以下の設定を確認してください。

- ・ホスト情報…IP アドレスとホスト名の対応が必要となります。`/etc/hosts` ファイルに設定するか DNS を引いて正引き、逆引きの名前解決ができるようにしておいてください。
- ・`hostname` コマンドでホスト名が参照できるようにしておいてください。

2.4 管理ツール(manager)のインストール

`apache` の設定が完了したら、管理ツールのインストールを行います。先ほど、ダウンロードしたパッケージファイルを適当なディレクトリで展開し、できたディレクトリ内の `install.sh` を実行します。

```
# cd /tmp
# wget http://www.promark-inc.com/dl/PSMT2.0/psmt_2.0.9-manager-pkg.tar.gz
# tar xzf psmt_2.0.9-manager-pkg.tar.gz
# cd psmt_manager_2.0.9
# ./install.sh manager [password] [port]
#
```

`install.sh` 起動時の引数は、管理サーバの IP アドレス(または名前)、管理ツールのパスワード、管理サーバのポート番号となります。管理ツールのパスワードは、管理ツールへのログインやエージェントとの通信時の暗号化のものとなりますので設定したものを忘れないようにしてください。(初期パスワードは 8 文字までとなります。)パスワードを省略した場合には“`psmtadm`”が、ポート番号を省略した場合には“`8505`”が指定されます。ポート番号は変更の必要がない限り、“`8505`”を使うようにしてください。サーバのアドレスを名前で指定する場合には、`/etc/hosts` ファイルに設定してからインストールを行ってください。

インストーラは、パッケージのインストールから、Web サーバの設定まで自動的に行います。エラーなく終了すれば、管理ツールが起動している状態となります。

インストール時に環境チェックを行い、以下の条件にマッチしていないとインストールが行われません。

- ・OS が Linux
- ・OS のバージョンが RHEL8 以上(互換 OS も含む)
- ・Web サービスの `httpd` が Apache2.4 以上

管理ツールのインストールでは以下の設定が行われます。

- ・`psmtadm` ユーザ、グループの作成
- ・インストールディレクトリの作成 (`/var/www/manager`)
- ・モジュールのインストール(ファイルコピー)
- ・PSMT 管理ユーザ(`admin`)の作成
- ・PSMT 用 `httpd` の設定
- ・スタートアップスクリプト(`/etc/init.d/psmt_httpd`)の設定
- ・PSMT 用 `httpd` の起動

※古いバージョンがインストールされている場合には、新しいバージョンで上書きインストールされません。

アンインストールスクリプトの用意はしていませんので、以下の手順でアンインストールを行ってください。

- ① PSMT 用 httpd の停止
- ② スタートアップスクリプトの削除
- ③ /etc/httpd/conf/psmt_httpd.conf の削除
- ④ /var/www/manager ディレクトリの削除
- ⑤ psmtadm ユーザ、グループの削除
- ⑥ /var/www/html/download ディレクトリの削除 (他のシステムで使用している場合には PSMT で作成したファイルのみ削除してください。)
- ⑦ /var/www/html ディレクトリにある配布用アップデートファイル (psmtadm ユーザのレギュラーファイル) の削除

2.5 アップデートデータのミラーリング

インストールが完了すると、管理ツールが利用可能となりますが、データが用意されていないので弊社アップデートサーバより、最新のアップデート用のデータをダウンロードします。アップデートデータの取得には以下のコマンドを利用します。

```
# /var/www/manager/mirror/mirror.sh
```

1 回目のミラーリングでは、データが全くないので古いバージョンとの比較ができないため、比較処理の部分でエラーがでますが、ファイルがダウンロードできていれば問題ありません。

ミラーリングデータは、/var/www/manager/update/latest ディレクトリに格納されます。

ミラーリングは定期的実施することをお勧めします。管理ツールの ProScan 最新情報は、弊社のアップデート上の最新バージョンを表示しています。ミラーリングを行うと、このバージョンと同じになります。(但し、タイミングの問題でアップデート直後にはずれる場合があります。)ミラーリングを定期的に行うには、cron に設定します。例えば、毎時 10 分にミラーリングするには crontab -e で下記設定を追加します。実行結果がログとなりますので、ログを記録する場合には /dev/null ではなくログファイル名を記述してください。

```
10 * * * * /var/www/manager/mirror/mirror.sh > /dev/null 2>&1
```

※この設定は必須ではありません。PSMT の管理画面からミラーリングが可能のため、運用ポリシーに従って設定をお願いします。

弊社アップデートサーバに接続できない、クローズドな環境で PSMT を運用する場合には、手動でデータをセットする必要があります。詳細については付録.B を参照してください。

ミラーリングは PSMT の GUI 上から実施することも可能です。その場合には「ミラーリング」ボタンクリックで開始されます。

【ProScan最新情報】					
ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	PSMT Status
6.0.6.10	0.103.4	27493	2024/12/20 18:46:00	ミラーリング	最新版です

ミラーリングの様子は別ウインドウに実行結果として出力されますので、状況を確認することが可能です。

```

/usr/bin/wget -q -O /tmp/dns.txt http://clamav-latest.promark-inc.com/clamav/vdf/dns5.txt
FIELDS main=62 daily=27493 bytecode=335
cp: cannot stat 'main.cvd': No such file or directory
copy 'main.cvd' -> 'temp/main.cvd'
2024-12-22 01:08:33 URL:http://clamav-latest.promark-inc.com/clamav/vdf/main.cvd [170479789/170479789] -> "main.cvd" [1]
file temp/main.cvd is newer than main.cvd
move 'temp/main.cvd' -> 'main.cvd'
cp: cannot stat 'daily.cvd': No such file or directory
copy 'daily.cvd' -> 'temp/daily.cvd'
2024-12-22 01:08:37 URL:http://clamav-latest.promark-inc.com/clamav/vdf/daily.cvd [64430359/64430359] -> "daily.cvd" [1]
file temp/daily.cvd is newer than daily.cvd
move 'temp/daily.cvd' -> 'daily.cvd'
cp: cannot stat 'bytecode.cvd': No such file or directory
copy 'bytecode.cvd' -> 'temp/bytecode.cvd'
2024-12-22 01:08:37 URL:http://clamav-latest.promark-inc.com/clamav/vdf/bytecode.cvd [289733/289733] -> "bytecode.cvd" [1]
file temp/bytecode.cvd is newer than bytecode.cvd
move 'temp/bytecode.cvd' -> 'bytecode.cvd'
get psaix_update.lst from clamav-latest.promark-inc.com ... %c
successful
download ibm/power/PSHB06/README, file was updated.
download ibm/power/PSHB06.lst, file was updated.
get psx_update.lst from clamav-latest.promark-inc.com ... %c
successful
download ibm/x86/PSHB03.lst, file was updated.

```

2.6 アップデートデータの反映

ミラーリングが完了したら、配布用のデータを用意します。各 ProScan がアップデート時に参照するデータとなります。以下のコマンドで反映します。

```
# /var/www/manager/bin/latest2dist.sh
```

管理サーバの配布用ディレクトリ(/var/www/manager/update/dist)にデータをコピーします。

現状のデータはバックアップ領域に移動されます。バックアップ領域は 3 世代あり、必要に応じて戻すこと(ロールバック機能)が可能です。

※4 世代目以降はアーカイブファイルとして保存されます。アーカイブファイルの世代数はデフォルトで 5 世代です。世代数は latest2dist.sh の BACKUP_ARCHIVES パラメータで設定可能です。

配布用データが最新の場合には、何も処理しません。

2.7 PSMT の設定

PSMT の設定は/var/www/manager/cgi/manager.cgi に行います。CGI プログラムの先頭部分に以下のような内容で記述されています。(36 行目~79 行目まで)

```
### PSMT 設定 -----
##
#
# wget コマンドのパスを指定します。
my $wget = "/usr/bin/wget";

# アップデートサーバのドキュメントルート
my $docroot = "/var/www/html";

# psmt_passwd コマンドのパスを指定します。
my $htpasswd_command = "/var/www/manager/bin/psmt_passwd";

# パスワードの暗号化タイプを指定します。
# d: DES
# B: Bcrypt
my $htpasswd_opt = "d";

# PSMT のタイプを指定します。
# 0: スレーブ
# 1: マスタ
# 2: ミラーリングできないクローズド環境
my $master_flag = 1;

# スレーブの場合には、$latest_ver_file を設定します。
my $latest_ver_file = "";

# PSMT 表示設定
my $psmt_title = "";
my $psmt_color = "#cccccc";
my $psmt_color2 = "#f0f0f0";

# 最新バージョン管理サーバのアドレスを 3 つ指定します。
# 通常は以下のサーバで問題ありません。
my $server1 = "clamav-latest.promark-inc.com";
my $server2 = "clamav-latest-2.promark-inc.com";
my $server3 = "update.promark-inc.com";

# アクセス許可端末
my $accept = ".";

# リスト表示時の 1 ページの行数
my $number_of_page = 10;

#-----ここまで
```

必要に応じてコメントに書かれている通り設定を変更してください。

2.8 エージェント(agent)のインストール

次に、エージェントのインストールを行います。エージェントをインストールする前に ProScan のインストールを済ませておいてください。ProScan が単体で動作することを確認したのちにエージェントをインストールします。エージェントのインストールは以下の手順で行います。ダウンロードしたパッケージは、/tmp 等に置いておいてください。

```
# cd /tmp
# wget http://www.promark-inc.com/dl/PSMT2.0/psmt\_2.0.9-agent-pkg.tar.gz
# tar xzf psmt_2.0.9-agent-pkg.tar.gz
# cd psmt_agent_2.0.9
# ./install.sh manager_address
#
```

インターネットへアクセスできない環境の場合には、事前にパッケージファイルをダウンロードしておくか、ミラーリングを行えば管理サーバにパッケージがダウンロードされていますので、そちらをご利用ください。場所は管理サーバの“/var/www/manager/data/download/agent_pkg.tar.gz”です。存在していなければ、通常の手順でダウンロードをお願い致します。

管理ツールの機能を利用してダウンロードすることも可能です。

```
# wget http://管理ツールアドレス:ポート/cgi-bin/download.cgi?pass=パスワード
```

カレントディレクトリに agent_pkg.tar.gz がダウンロードされます。

install.sh のパラメータは管理サーバのアドレスのみです。インストールが完了すると、エージェントプロセスが起動し、管理ツールからの指示を待つ状態となります。

エージェントのインストールでは以下の設定が行われます。

- ・インストールディレクトリの作成 (/opt/proscan/agent)
- ・モジュールのインストール (ファイルコピー)
- ・スタートアップスクリプト (/etc/init.d/psmt_agent) の設定
- ・エージェントの起動

アンインストールスクリプトの用意はしておりませんので以下の手順でアンインストールを行ってください。

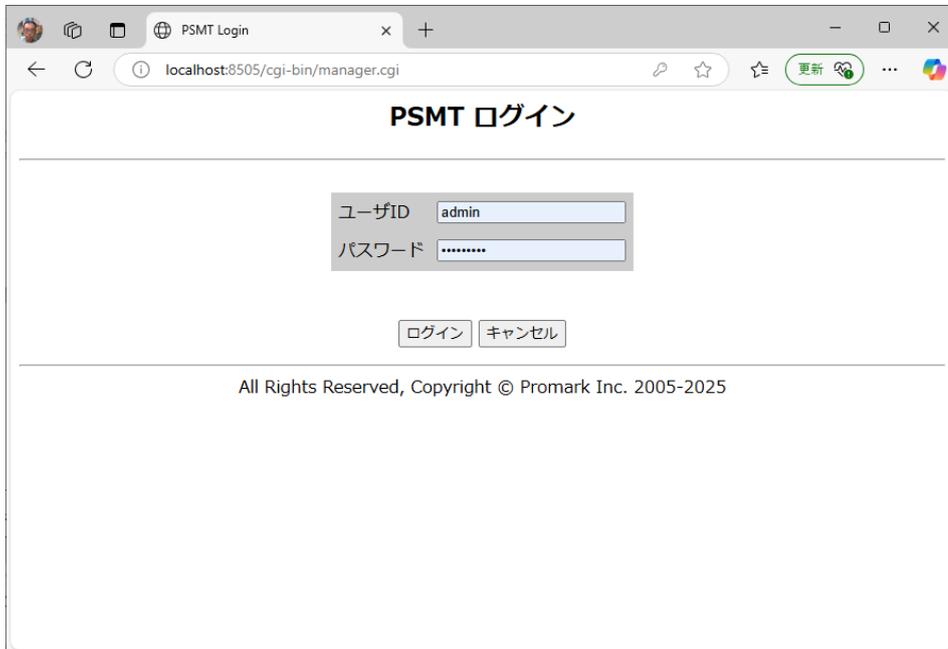
- ① エージェントの停止 (/etc/init.d/psmt_agent stop)
- ② スタートアップスクリプトの削除
- ③ エージェントディレクトリの削除

3 初期設定

3.1 ログイン

管理サーバにアクセスすると、管理ツールへのログイン画面が開きます。

アクセス URL → *http://PSMT の IP アドレス:ポート番号/cgi-bin/manager.cgi*



初期ユーザは“admin”で、パスワードはインストール時に指定したものとなります。ログインボタンをクリックすると管理ツールにログインします。

下記が、管理ツールインストール後の最初のログインの状態です。



【ProScan 最新情報】にプロマークアップデートサーバの最新アップデートデータのバージョン情報を表示しています。Latest 欄に「取得できませんでした」と表示されている場合には、ネットワーク環境を見直してください。既にコマンドベースでミラーリング、反映を行っていれば【本番配布用マスタ情報】には、最新のデータが反映されています。

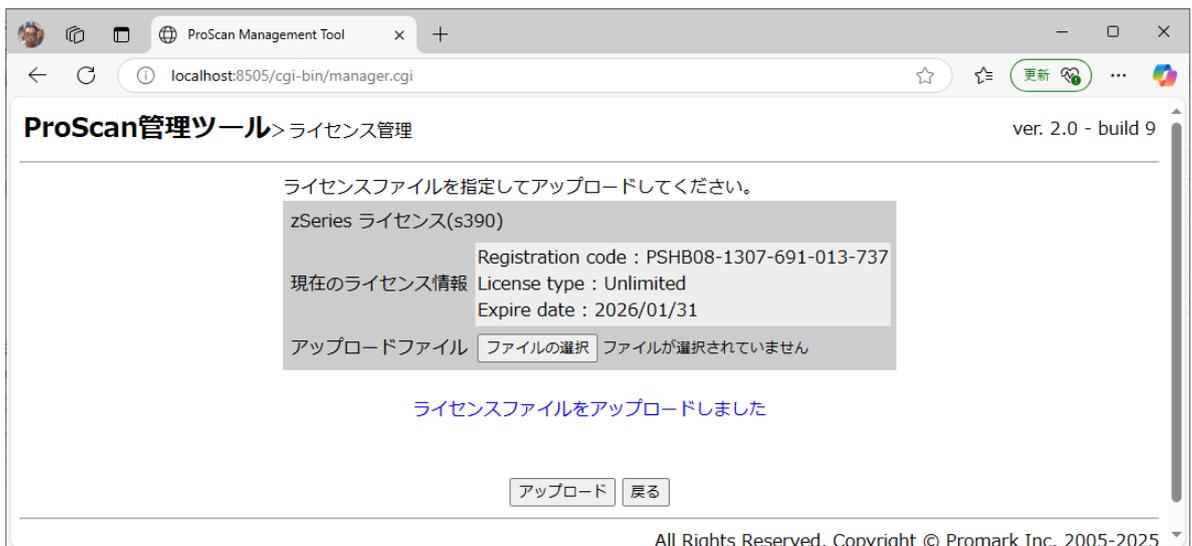
ログアウトする場合には、ログアウトボタンで行います。

3.2 ライセンスの登録

エージェントをアクティベーションする前に、ライセンスファイルの登録を行います。
管理ツールの「ライセンス管理」をクリックし、ライセンス管理画面を開きます。

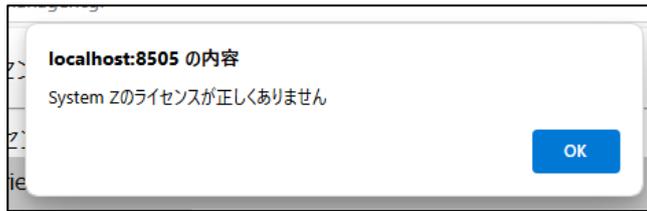


ライセンスファイルを指定し、アップロードを行います。



「ライセンスファイルをアップロードしました」と表示されれば OK です。

間違ったファイルを指定すると、以下のようなエラーが表示されます。



アップロードしたライセンスの情報が表示されます。ライセンスの詳細は表示されませんので詳細を確認するには、クライアント側で `licenseviewer` コマンドを実行することで可能です。

3.3 グループの作成

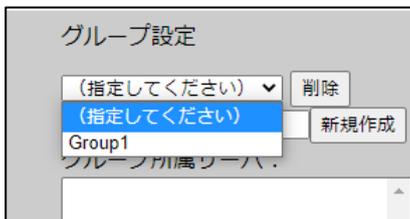
管理ツールの「オプション」をクリックしオプション画面を開きます。



グループ設定から、右側の新規作成の欄にグループ名を設定し「新規作成」ボタンをクリックします。



正しく作成されると、上のプルダウンリストの中に設定したグループ名が表示されます。



グループ名は必ずアルファベットと数字、記号(#, -, =, /, *, +)でお願いします。全角文字(漢字、ひらが、カタカナ、数字、記号等)は使えません。グループを削除するには、プルダウンで選択してから「削除」ボタンをクリックしてください。

3.4 設定ファイルの作成

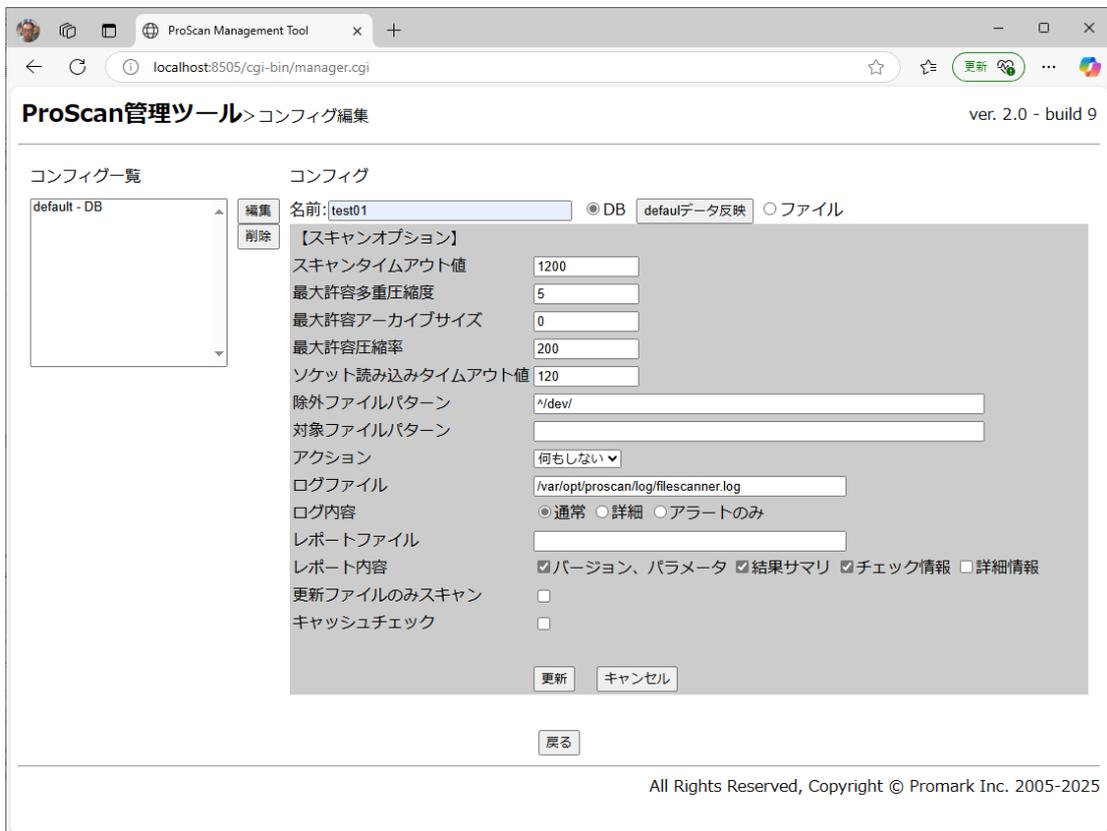
同様に、設定ファイルの作成を行います。管理ツールの「コンフィグ編集」をクリックすると、コンフィグ編集の画面が開きます。初期状態でインストール時に“default”という設定が作られています



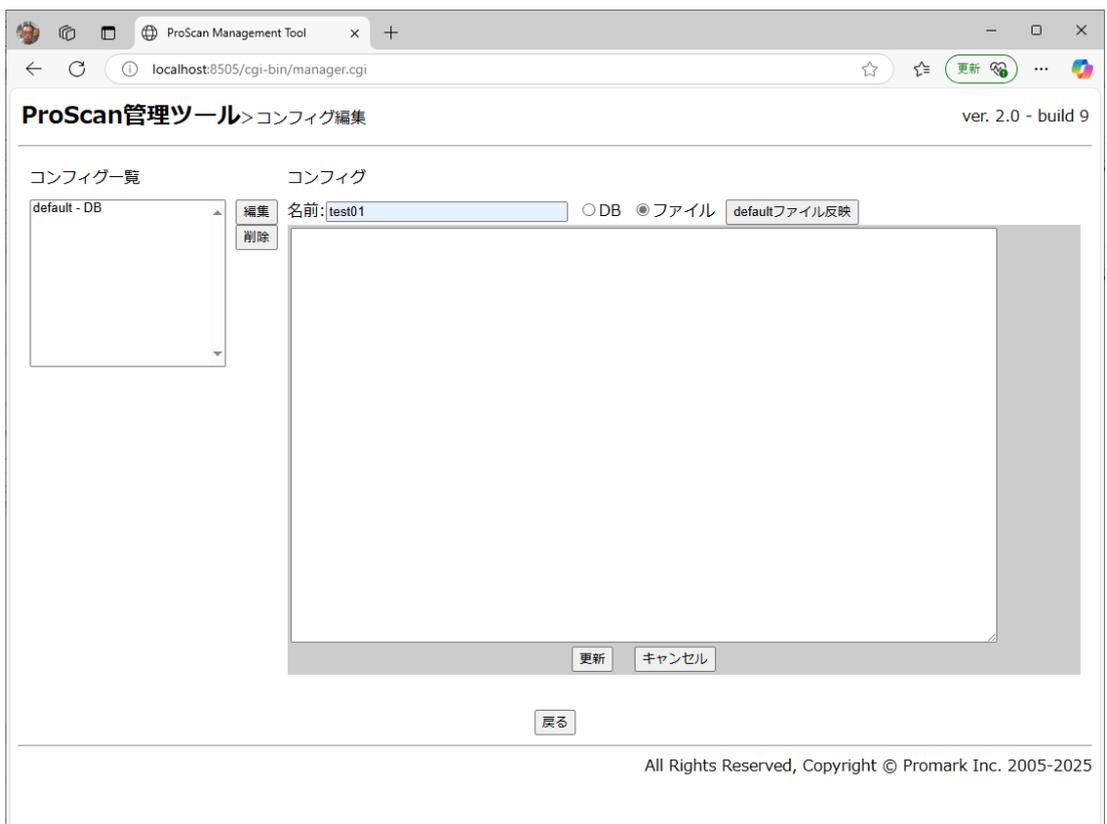
今回のバージョンより、コンフィグ編集の方法が大きく変わりました。フォームで設定する DB モードと設定ファイルそのものを編集可能なファイルモードがあります。コンフィグ一覧にコンフィグ名とともにどちらのモードで作成したコンフィグかがわかるようになっていました。(build9 より前のバージョンはすべて DB モードとなります。)



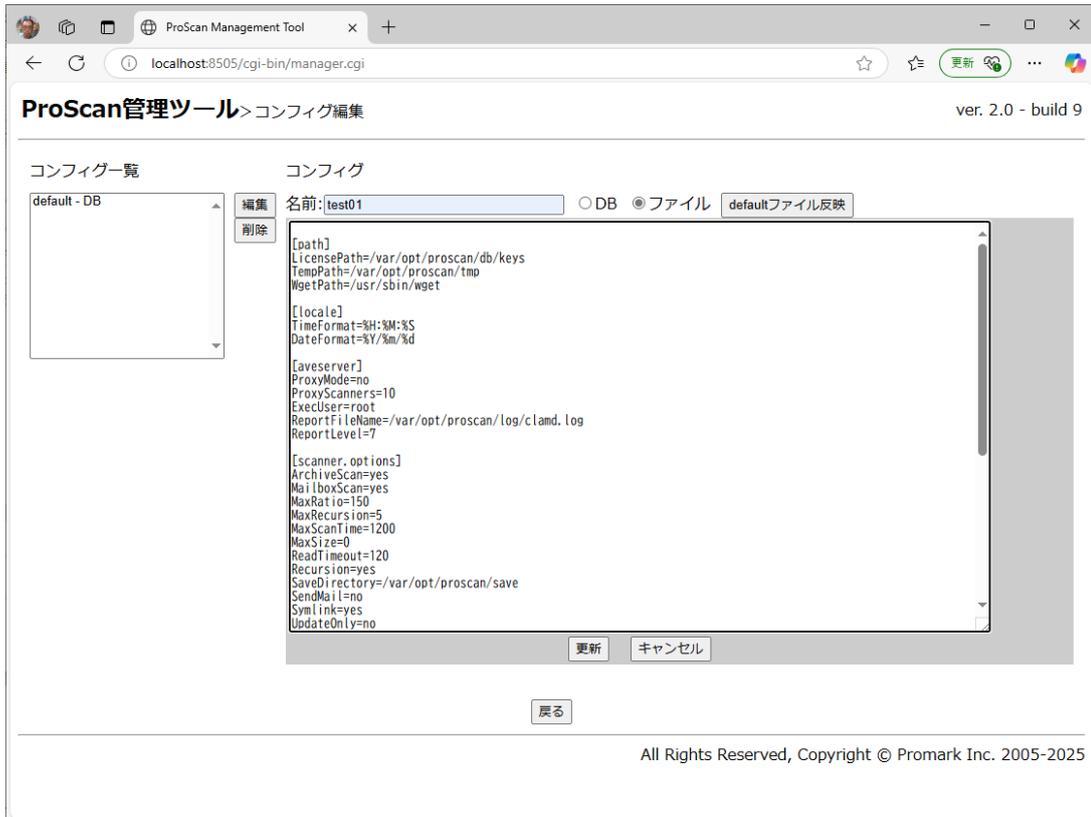
新規に作る場合には、名前を設定して(名前は英数字記号のみです。カンマは使えません。)コンフィグの作成モードを指定します。DB モードを選択した場合には、フォームが表示され値が設定できるようになります。



“default データ反映”ボタンは、デフォルトの設定値をフィールドに反映します。ファイルモードを選択するとテキストエディタの画面になりますので、設定ファイルの記述を行います。



“default ファイル反映”ボタンをクリックすると、デフォルトの設定ファイルが自動的にセットされます。必要に応じて内容を修正してください。



更新ボタンをクリックすると確認ダイアログが開きますので“OK”ボタンをクリックしてください。キャンセルボタンをクリックすると編集した内容がすべてキャンセルされます。(更新後のキャンセルは効きません)



設定したコンフィグが新規作成され、左側のコンフィグ一覧に表示されます。



既に作成した内容を変更する場合には、コンフィグ一覧より、コンフィグを選択し「編集」ボタンをクリックします。既に作成済みの設定モードを変更することはできません。タイプを変更する場合には新たに作成をしてください。

削除する場合には、同様にコンフィグを選択して「削除」ボタンをクリックします。

今回の機能追加で細かい設定まで可能となりました。

3.5 クライアント(agent)の登録（アクティベーション）

次に、エージェントの登録を行います。管理ツールの「アクティベーション」を選択するとアクティベーション画面が開きます。アクティベーションを行う前に、管理対象となるサーバのホスト名は管理サーバの/etc/hosts か DNS に必ず設定しておく必要があります。そうしないと正しくアクティベーションできません。

対象クライアント、パスワード、グループ、設定ファイルをセットし、アクティベーションを実施します。

正常に終了すると、「アクティベーションが完了しました」と表示されますが、何らかのエラーが発生すると、次のようなエラーが表示される場合があります。

アクティベーションに失敗しました
すでにアクティベーション済みです

エージェントプロセスが起動していなかったり、エージェントと通信できない場合や既にアクティベーションを行って場合、セットアップ途中でエラーとなった場合など正しくアクティベーションできなかった場合には赤字のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージと原因および対処方法を次の表に示します。

アクティベーションが完了するとリストに管理対象として表示されます。

【管理サーバー一覧】		LastUpdate:2025/03/05 16:52:58								
No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
1	proscan2z16 (192.168.19.87)	Group1	●	6.0.6.0	1.0.7	27566	2025/03/05 16:52:56	●		control

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025

ProScan サーバのホスト名は、/etc/hosts または DNS に登録されている必要があります。

登録だけでは、状態が把握できませんので、エージェントに状態を問い合わせる必要があります。すべての管理対象サーバを登録してからでもよいですし、1 台ごとに行っても構いません。

3.6 クライアントの状態確認

各クライアント(管理対象サーバ)の状態を問い合わせます。管理ツールの「最新情報の取得」を行うと、各エージェントに問い合わせを実施します。



台数が多い場合には時間がかかりますので、バックグラウンドで処理されています。都度、ログを確認し、すべての管理対象の情報が取得できているか確認してください。「ログ確認」ボタンをクリックするとログの内容を表示します。



Error となっているクライアントがあれば調査します。

エラーの原因は、ネットワークの問題かエージェント側の問題が考えられます。こちらは PSMT マネージャの以下のスクリプトを実行することで管理対象に対して version コマンドを発行しています。

```
/var/www/manager/bin/version_check.pl
```

version コマンドは各エージェントで version スクリプトを実行しますので、エラーとなったエージェントで単独で version スクリプトを実行することでエラーの原因がわかります。

```
/opt/proscan/agent/script/version PSMT の IP アドレス
```

また、マネージャ側から実行することも可能です。その場合には以下のように行います。

```
echo version | /var/www/manager/bin/manager -a 対象エージェントの IP アドレス
```

どちらも root ユーザで実行する必要がありますのでご注意ください。

4 ProScan 操作

管理対象の ProScan の操作は管理ツールの一覧表の「control」ボタンから行います。タイトル行の「Control」ボタンは、絞り込んだ対象に対して一括操作となります。

No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
1	proscan2z16 (192.168.19.87)	Group1	●	6.0.6.0	1.0.7	27566	2025/03/05 16:52:56	●		control

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025

赤丸の control ボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。



ProScan管理ツール > コントロール ver. 2.0 - build 9

ホスト名: proscan2z16
 IPアドレス: 192.168.19.87
 グループ: Group1

状態: バージョン: ● スキャン: ● スキャン結果確認

【バージョン情報】
 ProScanバージョン: 6.0.6.0
 エンジンバージョン: 1.0.7
 VDFバージョン: 27566

【オンデマンド機能】
 VDFアップデート: 2025/03/05 16:52:56
 ロールバック: No.1 No.2 No.3
 スキャン実施: スキャン対象:
 コンフィグ反映: default ▼
 ライセンス更新: 更新期限: 2026/01/31
 スケジュール変更: スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定

【エージェント制御機能】
 エージェント更新: PSMTエージェントのアップグレードを実施します
 ディアクティブート: PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します

戻る

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025

各種情報としてサーバ情報、現在の ProScan の状態、バージョン情報、最終アップデート日時、スキャン日時、ライセンス更新期限、アップデートおよびスキャンのスケジュールが表示されています。【オンデマンド】欄のボタンは、各種処理を指示するためのものとなります。それらに加え、アップグレードとディアクティベートの実施を行うことが可能です。

4.1 スキャン

スキャン対象に、スキャンを実施するファイルやディレクトリを指定し、スキャン実施ボタンをクリックします。スキャンの結果は「スキャン結果確認」ボタンをクリックするとログが確認できます。

ProScan Management Tool

localhost:8505/cgi-bin/manager.cgi

ProScan管理ツール > コントロール ver. 2.0 - build 9

ホスト名	proscan2z16
IPアドレス	192.168.19.87
グループ	Group1

状態 バージョン : ● スキャン : ● [スキャン結果確認](#)

【バージョン情報】

ProScanバージョン	6.0.6.0
エンジンバージョン	1.0.7
VDFバージョン	27566

【オンデマンド機能】

VDFアップデート 2025/03/05 16:52:56

ロールバック No.1 No.2 No.3

スキャン実施 スキャン対象 :

コンフィグ反映 default

ライセンス更新 更新期限 : 2026/01/31

スケジュール変更 スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定

【エージェント制御機能】

エージェント更新 PSMTエージェントのアップグレードを実施します

ディアクティベート PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します

[戻る](#)

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025

スキャン実施は、スキャンを行うファイルの種類、量によって時間が変わります。あまり多くのスキャンを指示しますと、ブラウザがタイムアウトしてしまう可能性もございます。その場合は、ある程度時間がたってから、再度確認をお願いします。(処理は継続しているので結果を確認してください。)

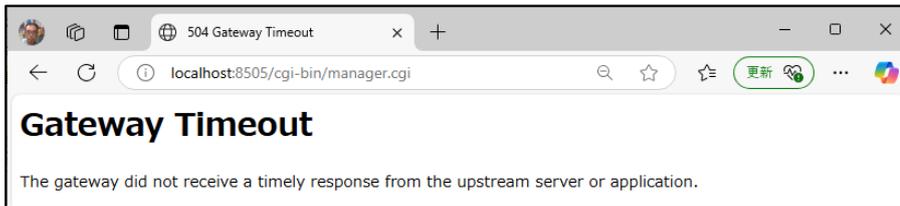
ディアクティベート PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します

タイムアウトエラーが出たらブラウザの「戻る」を押して一覧から確認して下さい

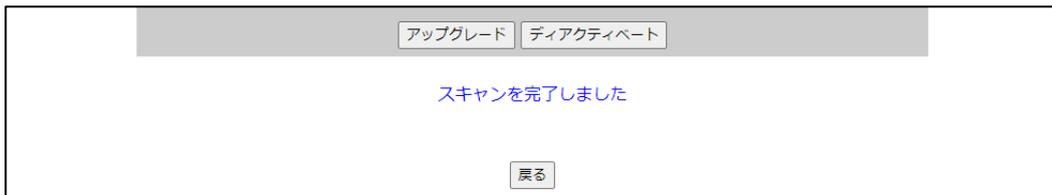
[戻る](#)

スキャン中は上記のような画面となります。

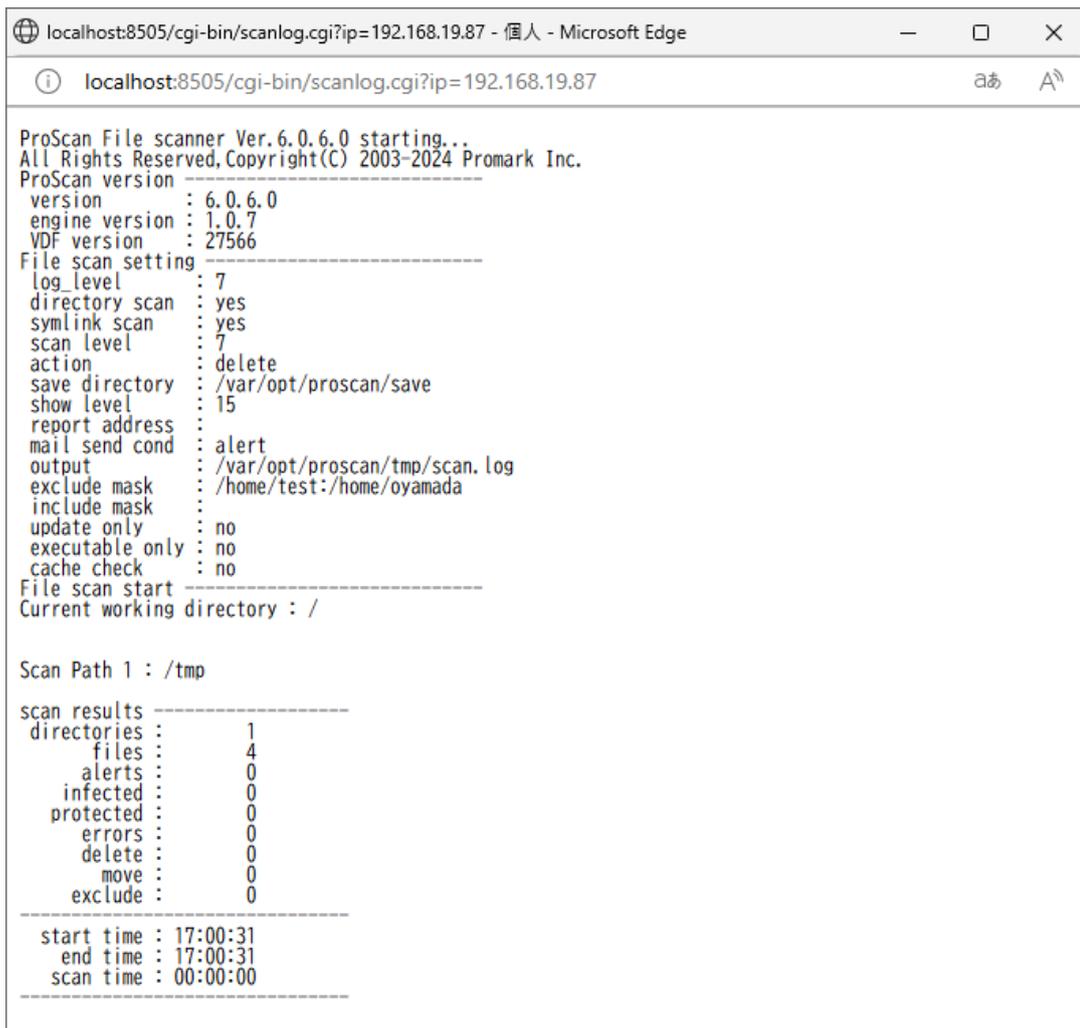
CGI がタイムアウトした場合には、一旦、ホーム画面に戻って、しばらくしてから状態を確認してください。



正常に終了すると、「スキャンを完了しました」と表示されます。エラーの場合はログを確認してください。



「スキャン結果確認」ボタンをクリックすると以下のようにスキャン時のログを確認できます。ログの内容はログレベルによって変わりますので、下記の画面は一例です。(ReportLevel=15 の例となります。) 詳細なログを確認するにはログレベルを上げる必要がありますので、詳細は ProScan 管理者ガイドをご覧ください。



4.2 VDF アップデート

VDF のアップデートを実施します。通常は、cron により自動的に行われますが、オンデマンドで実施する場合にこの機能を利用します。

The screenshot shows the ProScan Management Tool interface in a browser window. The page title is 'ProScan管理ツール>コントロール' and the version is 'ver. 2.0 - build 9'. The interface displays various system information and control options. The 'VDF Update' button is highlighted with a red box.

ホスト名	proscan2z16
IPアドレス	192.168.19.87
グループ	Group1
状態	バージョン: ● スキャン: ● スキャン結果確認
【バージョン情報】	
ProScanバージョン	6.0.6.0
エンジンバージョン	1.0.7
VDFバージョン	27566
【オンデマンド機能】	
VDFアップデート	2025/03/05 16:52:56
ロールバック	<input type="radio"/> No.1 <input type="radio"/> No.2 <input type="radio"/> No.3
スキャン実施	スキャン対象: <input type="text"/>
コンフィグ反映	default▼
ライセンス更新	更新期限: 2026/01/31
スケジュール変更	スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定
【エージェント制御機能】	
エージェント更新	PSMTエージェントのアップグレードを実施します
ディアクティベート	PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します

戻る

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025

「VDF アップデート」ボタンをクリックするとアップデート処理が開始されます。

The screenshot shows a confirmation message box with the text 'アップデートを完了しました' (Update completed) in blue. The 'ディアクティベート' button is visible at the top left, and the '戻る' button is at the bottom center.

正常に終了すると、「アップデートを完了しました」と表示されます。

4.3 ロールバック

コントロール画面のロールバック機能は、エージェントごとに VDF を戻す機能となります。一覧表示の【バックアップマスタ情報】の No.を指定して、戻したいバージョンを選択します。



The screenshot shows the ProScan Management Tool Control page. The browser address bar shows localhost:8505/cgi-bin/manager.cgi. The page title is ProScan管理ツール > コントロール, ver. 2.0 - build 9.

Host information:

ホスト名	proscan2z16
IPアドレス	192.168.19.87
グループ	Group1

Status: バージョン: ● スキャン: ● [スキャン結果確認](#)

【バージョン情報】

ProScanバージョン	6.0.6.0
エンジンバージョン	1.0.7
VDFバージョン	27566

【オンデマンド機能】

VDFアップデート	2025/03/05 16:52:56
ロールバック	<input type="radio"/> No.1 <input type="radio"/> No.2 <input type="radio"/> No.3
スキャン実施	スキャン対象: <input type="text"/>
コンフィグ反映	default ▼
ライセンス更新	更新期限: 2026/01/31
スケジュール変更	スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定

【エージェント制御機能】

エージェント更新	PSMTエージェントのアップグレードを実施します
ディアクティブ	PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します

[戻る](#)

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025

4.4 ライセンス更新

更新期限が近づいてきて、新しいライセンスを購入した場合に、ライセンス管理で新しいライセンスを登録し、そのライセンスを各クライアントに反映するための機能です。事前にライセンスの登録を行ってから使用してください。



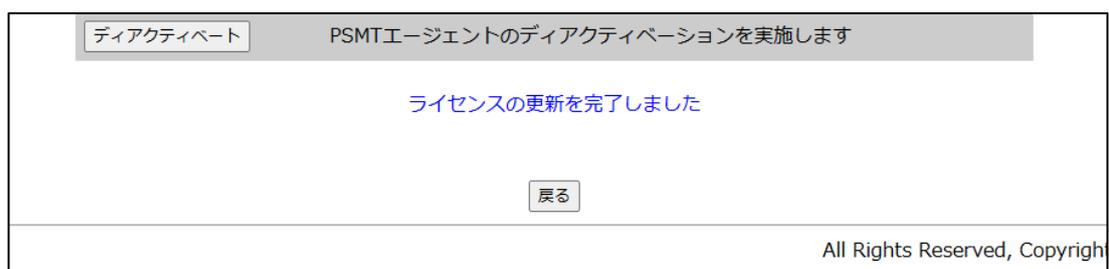
The screenshot shows the ProScan Management Tool interface in a browser window. The URL is localhost:8505/cgi-bin/manager.cgi. The page title is "ProScan管理ツール>コントロール" and the version is "ver. 2.0 - build 9".

The interface displays the following information:

- Host Name: proscan2z16
- IP Address: 192.168.19.87
- Group: Group1
- Status: バージョン: ● スキャン: ● [スキャン結果確認]
- 【バージョン情報】
 - ProScanバージョン: 6.0.6.0
 - エンジンバージョン: 1.0.7
 - VDFバージョン: 27566
- 【オンデマンド機能】
 - VDFアップデート: 2025/03/05 16:52:56
 - ロールバック: No.1 No.2 No.3
 - スキャン実施: スキャン対象: []
 - コンフィグ反映: default▼
 - ライセンス更新**: 更新期限: 2026/01/31
 - スケジュール変更: スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定
- 【エージェント制御機能】
 - エージェント更新: PSMTエージェントのアップグレードを実施します
 - ディアクティベート: PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します

A red box highlights the "ライセンス更新" button. At the bottom of the page, there is a "戻る" button and a copyright notice: "All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025".

「ライセンス更新」ボタンをクリックします。



The screenshot shows the ProScan Management Tool interface after the license update process is complete. The "ディアクティベート" button is highlighted, and the text "PSMTエージェントのディアクティベーションを実施します" is visible. A blue message box in the center reads "ライセンスの更新を完了しました". Below the message box is a "戻る" button. At the bottom right, there is a copyright notice: "All Rights Reserved, Copyright".

正常に終了すると、「ライセンスの更新を完了しました」と表示されます。

4.5 コンフィグ反映

スキャン時に使用するコンフィグファイルを複数用意しておき(コンフィグ編集機能)、ここで選択することが可能です。基本的には一度設定を行えば、スキャンのたびに変更する必要はありませんが、MaxSizeなどの制限値を変更してスキャンを行いたい場合などに有効です。

プルダウンから作成済みのコンフィグを選び、「コンフィグ反映」ボタンをクリックしてください。



The screenshot shows the ProScan Management Tool control panel. The browser address bar shows localhost:8505/cgi-bin/manager.cgi. The page title is ProScan管理ツール > コントロール, and the version is ver. 2.0 - build 9. The main content area is divided into several sections:

- Host Information:** Hostname: proscan2z16, IP Address: 192.168.19.87, Group: Group1.
- Status:** Version: ●, Scan: ●, and a button for 'スキャン結果確認'.
- Version Information:** ProScan Version: 6.0.6.0, Engine Version: 1.0.7, VDF Version: 27566.
- On-Demand Functions:** VDF Update: 2025/03/05 16:52:56, Rollback: No.1, No.2, No.3, Scan Target: (empty), Scan Execution: (empty), **Config Reflection:** default (highlighted with a red box), License Update: 更新期限: 2026/01/31, Schedule Change: スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定.
- Agent Control Functions:** Agent Update: PSMTエージェントのアップグレードを実施します, Deactivate Agent: PSMTエージェントのディアクティブーションを実施します.

At the bottom, there is a '戻る' button and a copyright notice: All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025.

正常に反映できれば、「コンフィグファイルの更新を完了しました」と表示されます。

4.6 スケジュール変更

アップデートならびにスキャンのスケジュールを変更します。cron ジョブの設定となりますので crontab へのスケジュール設定と同様の形式で行います。定時スキャンを設定した場合には「スキャン Path」も設定してください。

The screenshot shows the ProScan Management Tool web interface. The browser address bar displays 'localhost:8505/cgi-bin/manager.cgi'. The page title is 'ProScan管理ツール>コントロール' and the version is 'ver. 2.0 - build 9'. The interface is divided into several sections:

- Host Information:** Hostname: proscan2z16, IP Address: 192.168.19.87, Group: Group1.
- Status:** Version: ● (red), Scan: ● (yellow), and a 'スキャン結果確認' button.
- 【バージョン情報】 (Version Information):** ProScanバージョン: 6.0.6.0, エンジンバージョン: 1.0.7, VDFバージョン: 27566.
- 【オンデマンド機能】 (On-demand Functions):** VDFアップデート: 2025/03/05 16:52:56, ロールバック: No.1, No.2, No.3 (radio buttons), スキャン実施: スキャン対象: [input field], コンフィグ反映: default (dropdown), ライセンス更新: 更新期限: 2026/01/31, **スケジュール変更**: スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定 (highlighted with a red box).
- 【エージェント制御機能】 (Agent Control Functions):** エージェント更新: PSMTエージェントのアップグレードを実施します, ディアクティブート: PSMTエージェントのディアクティブーションを実施します.

At the bottom, there is a '戻る' (Back) button and a copyright notice: 'All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025'.

正常に設定が行われると、「cron のスケジュール更新を完了しました」と表示されます。

4.7 エージェント更新

エージェントプログラムのアップグレードを実施します。エージェントプログラムの更新がある場合には、弊社アップデートサーバに更新プログラムが置かれます。管理ツールのミラーリング機能と反映機能を使うと、所定の場所に更新プログラムがセットされます。その状態で、アップグレードを実施すると、エージェントプログラムが更新され、エージェントプロセスが再起動されます。(ProScan 本体のアップグレードは行いませんのでご注意ください。)



The screenshot shows the ProScan Management Tool control panel. The page title is "ProScan管理ツール>コントロール" and the version is "ver. 2.0 - build 9". The main content area is divided into several sections:

- Host Information:** Hostname: proscan2z16, IP Address: 192.168.19.87, Group: Group1.
- Status:** Version: ● (red), Scan: ● (yellow), and a "スキャン結果確認" button.
- Version Information:** ProScan Version: 6.0.6.0, Engine Version: 1.0.7, VDF Version: 27566.
- On-Demand Functions:** VDF Update: 2025/03/05 16:52:56, Rollback: No.1, No.2, No.3, Scan Execution: スキャン対象: [input field], Config Reflection: default, License Update: 更新期限: 2026/01/31, Schedule Change: スケジュールされていません ※cronへのスケジュール設定スタイルで指定.
- Agent Control Functions:** "エージェント更新" (Agent Update) is highlighted with a red box. Below it are "エージェント更新" (Agent Update) and "ディアクティベート" (Deactivate) buttons.

At the bottom of the page, there is a "戻る" (Back) button and the copyright notice: "All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2025".

アップグレードが正常に行われると、「アップグレードを完了しました」と表示されます。

4.8 ディアクティブート

該当 ProScan を管理対象から外します。管理ツールの DB から削除されますので、再管理を行う場合には、アクティベーションから実施してください。

4.9 一括処理

リスト表示の中で、絞り込みフィールドを使って特定の管理サーバをグループ化することができます。そのグループに対して、処理を行う機能です。

No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
		Group1 ▼	▼					▼		絞り込み
1	backupsv01 (192.168.100.155)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:09	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
2	backupsv02 (192.168.100.156)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:36	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
3	backupsv03 (192.168.100.157)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:54	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
4	backupsv04 (192.168.100.158)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:23:02	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
5	backupsv05 (192.168.100.159)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:24:29	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
6	backupsv06 (192.168.100.160)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:24:45	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control

例えば Group1 で絞り込んだ場合には Group1 の管理サーバが対象となります。VDF のバージョンが同じものや、ステータスが同じものも選択できます。対象となった場合には、リストのラインがクリーム色になります。例えば、名前が“backup”で始まるものといった絞り込みも可能です。

No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version
	backup	▼	▼			
1	backupsv01 (192.168.100.155)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.6	16812

絞り込んだ対象に対して処理を行う場合には、絞り込みボタンの上にある「Control」ボタンを使用します。処理対象一覧とともに起動用ボタンが表示されます。



ここで利用できる機能は、アップデート、スキャン、コンフィグ反映、ライセンス更新、アップグレードです。

一括設定は、バックグラウンドで実行されますので対象が多い場合には時間がかかり、ブラウザのタイムアウトが発生する場合があります。その場合には、リスト上で確認を行ってください。

5 PSMT 操作

PSMT の操作方法について、GUI 画面を中心に説明します。

5.1 初期画面

ログイン直後の画面になります。

ProScan管理ツール ver. 2.0 - build 1.3

最新情報を取得 コンフィグ編集 アクティベーション オプション ライセンス管理 ユーザ管理 再表示

【ProScan最新情報】

ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	PSMT Status
6.0.5.2	0.97.7	17013	2013/04/15 07:55:17	ミラーリング	最新版です

【本番配布用マス外情報】

ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action
6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 14:27:41	最新版反映

【バックアップ・マス外情報】

Action	No.	ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest
ロールバック	1	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/29 10:17:33
ロールバック	2	6.0.5.2	0.97.7	16865	2013/03/18 13:48:04
	3				

【管理サーバー一覧】 LastUpdate:2013/04/15 09:54:22

No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
1	backupsv01 (192.168.100.155)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:09	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
2	backupsv02 (192.168.100.156)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:36	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
3	backupsv03 (192.168.100.157)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:54	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
4	backupsv04 (192.168.100.158)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:23:02	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
5	backupsv05 (192.168.100.159)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:24:29	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
6	backupsv06 (192.168.100.160)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:24:45	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
7	backupsv07 (192.168.100.161)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:24:59	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
8	backupsv08 (192.168.100.162)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:25:15	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
9	backupsv09 (192.168.100.163)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:25:03	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
10	backupsv10 (192.168.100.164)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:25:39	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control

1 | 2 | 3 >>

All Rights Reserved, Copyright © Promark Inc. 2005-2013

機能は以下の通りです。

- ミラーリング
- 最新版反映
- 最新情報取得
- コンフィグ編集
- アクティベーション
- オプション
- ライセンス管理
- ユーザ管理
- 再表示
- ロールバック
- 一覧表示

これらについて次ページより説明します。

5.2 ミラーリング

プロマーク社のサーバのアップデートデータと同期を行います。

【ProScan最新情報】

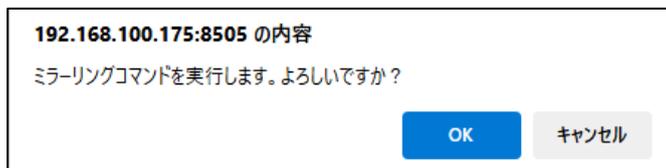
ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	PSMT Status
6.0.6.10	0.103.4	27496	2024/12/23 18:47:00	ミラーリング	最新版です

ここに表示されているバージョンが最新情報となります。PSMT Status が「最新版です」となっている場合には、ミラーリングの必要はありません。

【ProScan最新情報】

ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	PSMT Status
6.0.6.10	0.103.4	27496	2024/12/23 18:47:00	ミラーリング	最新版ではありません

「最新版ではありません」となっている場合にミラーリングボタンをクリックすると、ミラーリング処理が開始されます。基本的には cron 等を利用して定期的にミラーリングを行うのが望ましいので、オンデマンドでミラーリングを実施する機能という位置づけとなります。ミラーリングをクリックすると以下の画面が表示されますので OK ボタンをクリックしてください。(ミラーしない場合にはキャンセルして下さい。またポップアップウィンドウの抑止を行っている場合には、許可するようにお願いします。)



ログウィンドウが表示され、ミラーリング処理が始まります。



結果を確認し、閉じるボタンをクリックすると画面が閉じます。

一覧表示画面に新しい情報が更新されます。

ミラーリングでエラーが発生している場合には、弊社サポートまでご連絡ください。その際、一緒にこのログをお送りください。

5.2.1 ミラーリングの詳細機能

ミラーリングは、`/var/www/manager/mirror/mirror.sh` コマンドを呼び出すことで実施されます。`mirror.sh` コマンドは以下のような仕様となっています。

- ①プロダクトリスト(`/var/www/manager/mirror/products.lst`)の内容に従い実施されます。プロダクトリストには以下の識別子を1行ごとに記述します。記述されているプロダクトのミラーリングが実施されます。

`clamav` … VDF ミラーリング

`pse5` … ProScan、エンジンモジュールミラーリング (zLinux 用)

`psmt2` … 管理ツールモジュールミラーリング

- ②各プロダクト毎に専用のスクリプトで実施されます。それぞれの識別子が呼び出すスクリプトは以下の通りです。

`clamav` … `clamav_mirror.pl`

`pse5` … `proscan_mirror.sh`

`psmt2` … `psmt2_mirror.sh`

- ③ミラー後、バージョン情報を更新します。

- ④古い `cdiff` ファイルを削除します。

5.2.2 Proxy 経由のミラーリング

ミラーリングは弊社アップデートサーバへのアクセスが必要なため、直接インターネットアクセスできない場合には Proxy サーバを経由する必要があります。その場合には、以下の設定を行うことで可能となります。

`/var/www/manager/mirror/proxy.conf` に以下のパラメータを空白で区切って指定します。

`--proxy-host=Proxy` ホスト名または IP アドレス

`--proxy-port=Proxy` サーバポート

`--proxy-user=認証が必要な場合のユーザ ID`

`--proxy-password=パスワード`

例えば、`192.168.1.10` のポート番号 `8888` で Proxy サーバが動作している場合には以下のように設定します。

```
--proxy-host=192.168.1.10 --proxy-port=8888
```

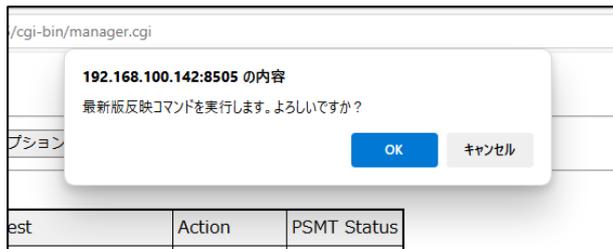
5.3 最新版反映

ミラーリングした最新情報を反映用のディレクトリに展開します。

【本番配布用マスタ情報】

ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action
6.0.6.0	1.0.7	27567	2025/03/05 17:14:51	最新版反映

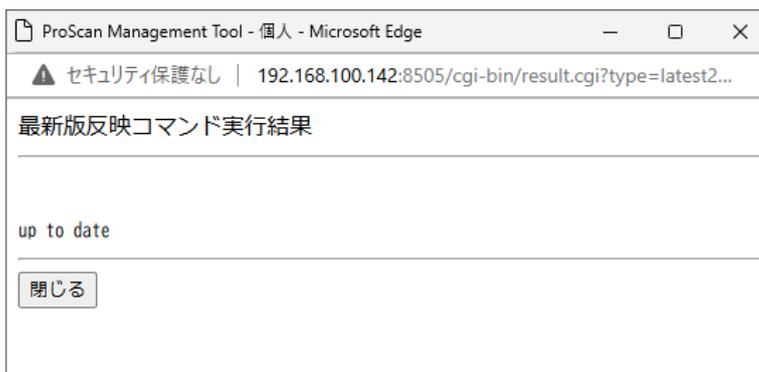
最新版反映ボタンをクリックすると、処理を確認するウインドウが開きますので OK ボタンをクリックします。



ログウインドウが表示され反映処理が行われます。(↓初期状態で最初に行った場合)



「up to date」という表示の場合にはバージョンに変化がなく、何も更新されなかったことを示しています。



処理を確認し、閉じるボタンをクリックしてウインドウを閉じてください。

そうすると一覧画面に戻り、反映処理を行った結果が表示され、反映用の VDF が最新版と同じバージョンになります。

【ProScan最新情報】					
ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	PSMT Status
6.0.6.0	1.0.7	27567	2025/03/04 19:02:00	ミラーリング	最新版です

↑ ↓ 同じバージョンになります

【本番配布用マスタ情報】					
ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	
6.0.6.0	1.0.7	27567	2025/03/05 17:14:51	最新版反映	

【管理サーバー一覧】 LastUpdate:2025/03/05 17:17:29							
No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update

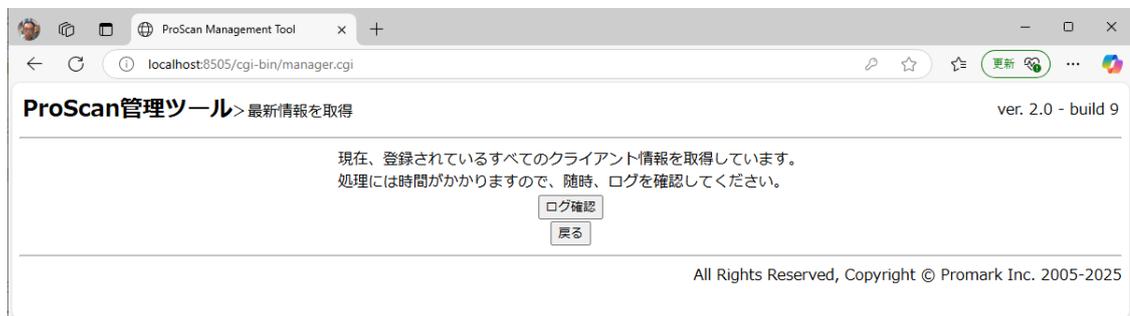
反映処理では次のような処理が行われます。

3世代あるバックアップを一つずつ世代交代し、現状の反映用データをバックアップ1に移動します。バックアップ3のデータは、アーカイブされて残されますので、必要に応じて古いデータを復活させることも可能です。(最大5世代分)

最新のデータは反映用のディレクトリにコピーされます。ロールバック処理を行ってデータを元に戻すことが可能です。(後述)

5.4 最新情報取得

管理対象となっている ProScan の最新情報を取得します。各 ProScan のエージェントに対して接続を行い、バージョン情報等のデータを取得します。管理対象すべてに対して行われるため、時間がかかる処理となっていますので、バックグラウンドで実行されます。



ログ確認のボタンをクリックして随時、処理が滞りなく行われているか確認してください。



すべての管理対象から情報が取得できれば完了です。

戻るボタンをクリックして一覧表示に戻ってください。

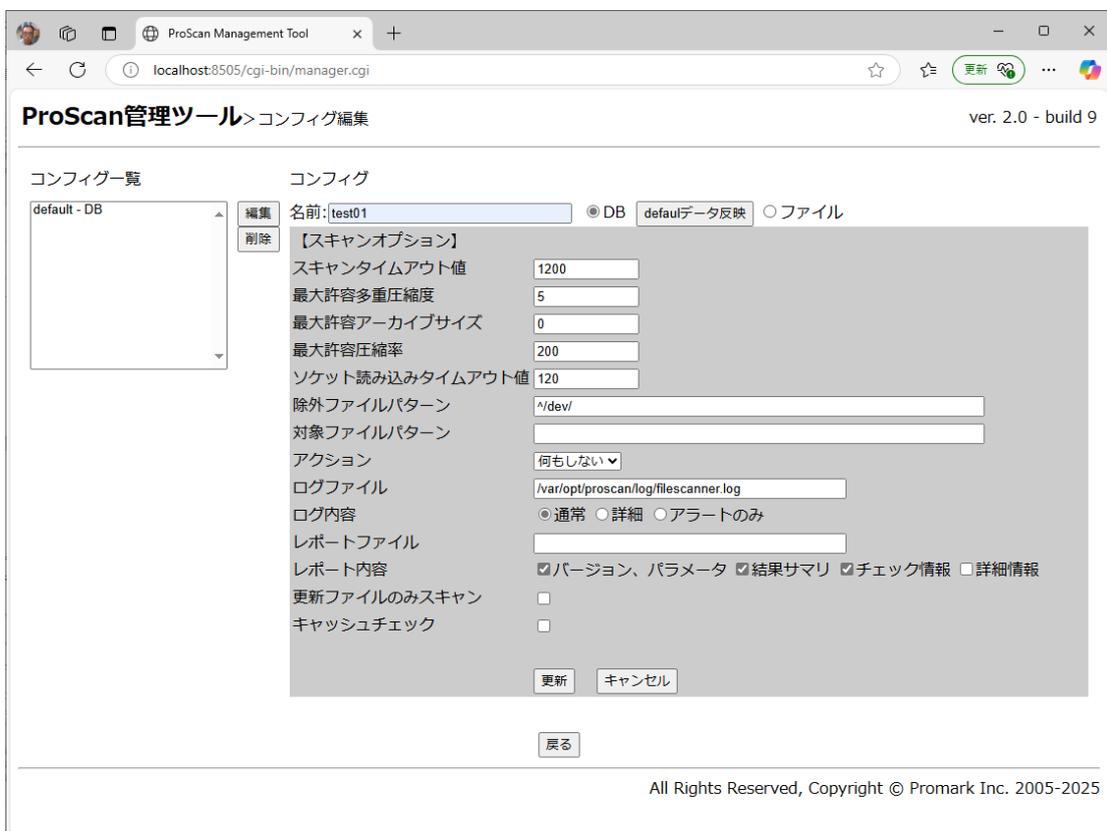
5.5 コンフィグ編集

ProScan のスキャン処理時の設定ファイルを管理する機能です。スキャン用の設定ファイルに名前を付けて、管理することが可能です。各管理対象でスキャンを行う際に、あらかじめ設定したファイルを指定することが可能となります。



初期時には“default”だけが存在しています。

新規作成時には、コンフィグの名前を設定して、DB タイプかファイルタイプを選択します。すると、以下のような画面となります。(DB タイプを指定した例)



フォームが表示されますので設定を行い、更新ボタンをクリックすると新しくコンフィグが生成されます。Default データ反映ボタンをクリックすると、初期データがフォームのフィールドにセットされますので、必要に応じて変更してください。

DB タイプを指定した場合に生成される scan.conf ファイルは以下の通りです。

```
# auto create for PSMT : default
[path]
LicensePath=/var/opt/proscan/db/keys
TempPath=/var/opt/proscan/tmp
WgetPath=/usr/sbin/wget

[locale]
TimeFormat=%H:%M:%S
DateFormat=%Y/%m/%d

[aveserver]
ProxyMode=no
ProxyScanners=10
ExecUser=root
ReportFileName=/var/opt/proscan/log/clamd.log
ReportLevel=7

[scanner.options]
ArchiveScan=yes
MailboxScan=yes
MaxRatio=200
MaxRecursion=5
MaxScanTime=1200
MaxSize=0
ReadTimeout=120
Recursion=yes
RepairFile=yes
SaveDirectory=/var/opt/proscan/save
SendMail=no
Symlink=yes
UpdateOnly=no
CacheCheck=no

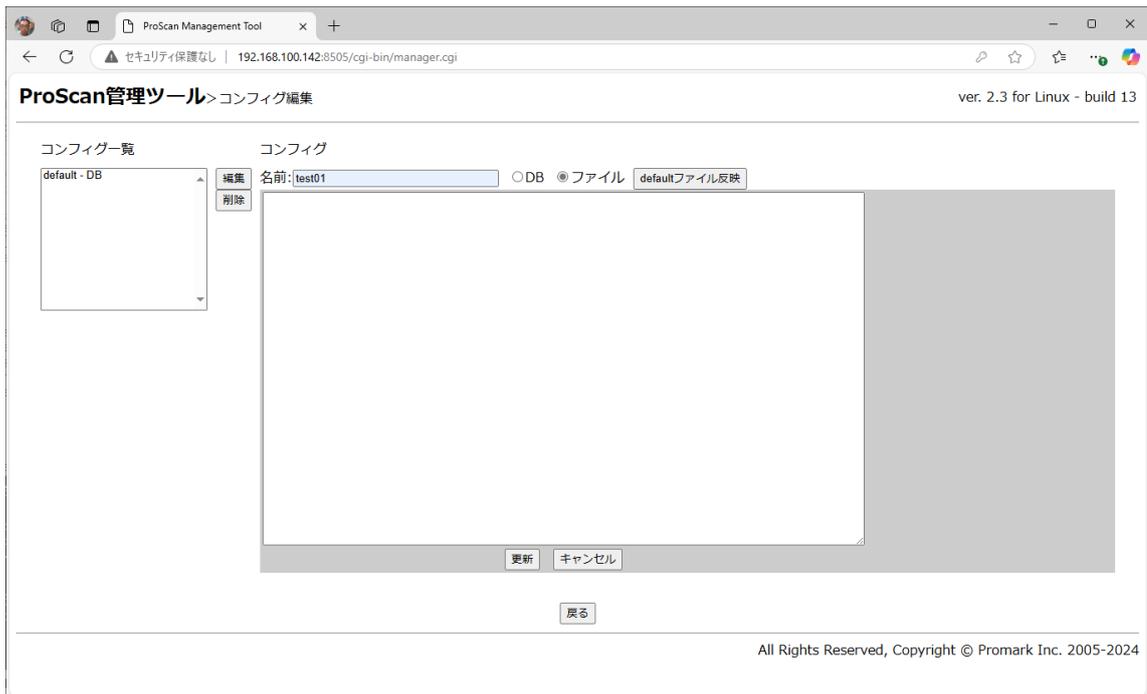
[scanner.object]
IncludeMask=
ExcludeMask=
MatchAction=delete
ScanLevel=7

[scanner.display]
OutputFileName=
ShowLevel=15

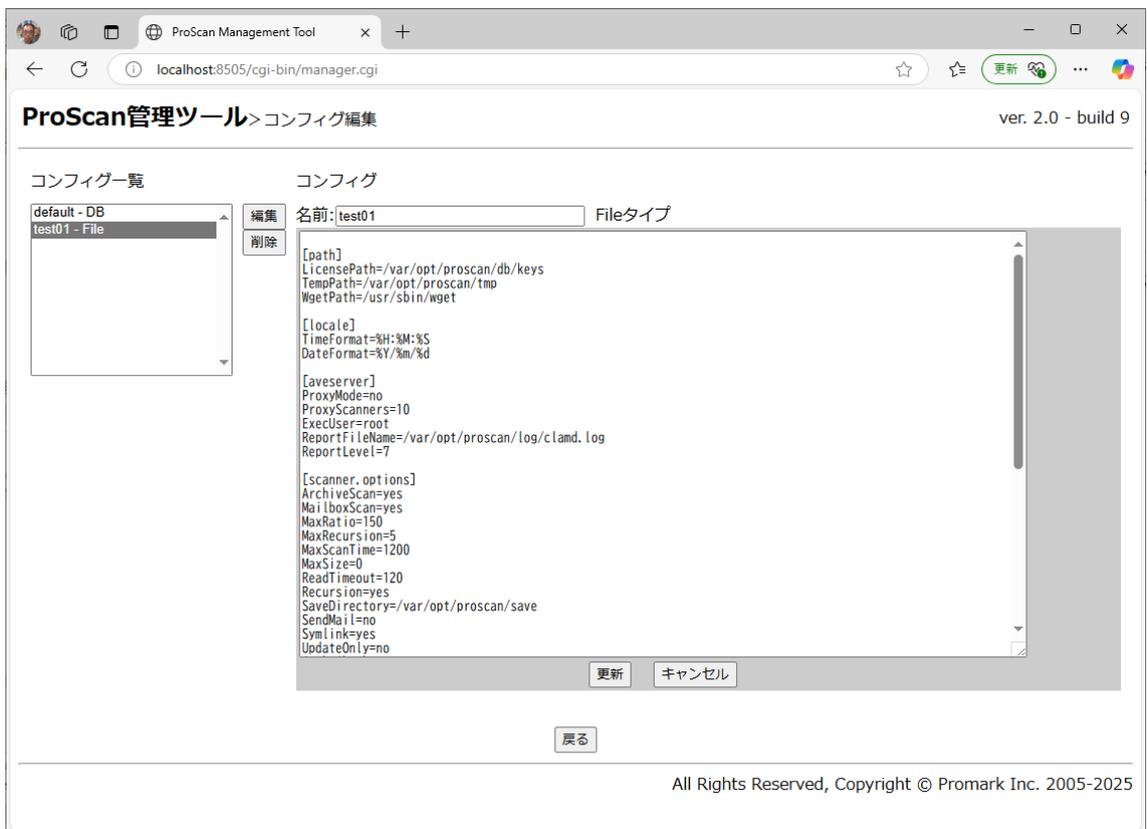
[scanner.report]
ReportFileName=/var/opt/proscan/log/filescanner.log
ReportLevel=7

_group default
_end_group
```

ファイルタイプを指定した場合には以下のような画面となります。



こちらでは設定ファイルの内容そのまま編集できます。default ファイル反映ボタンをクリックすると、デフォルトの設定ファイルが読み込まれますので、その内容を編集してください。



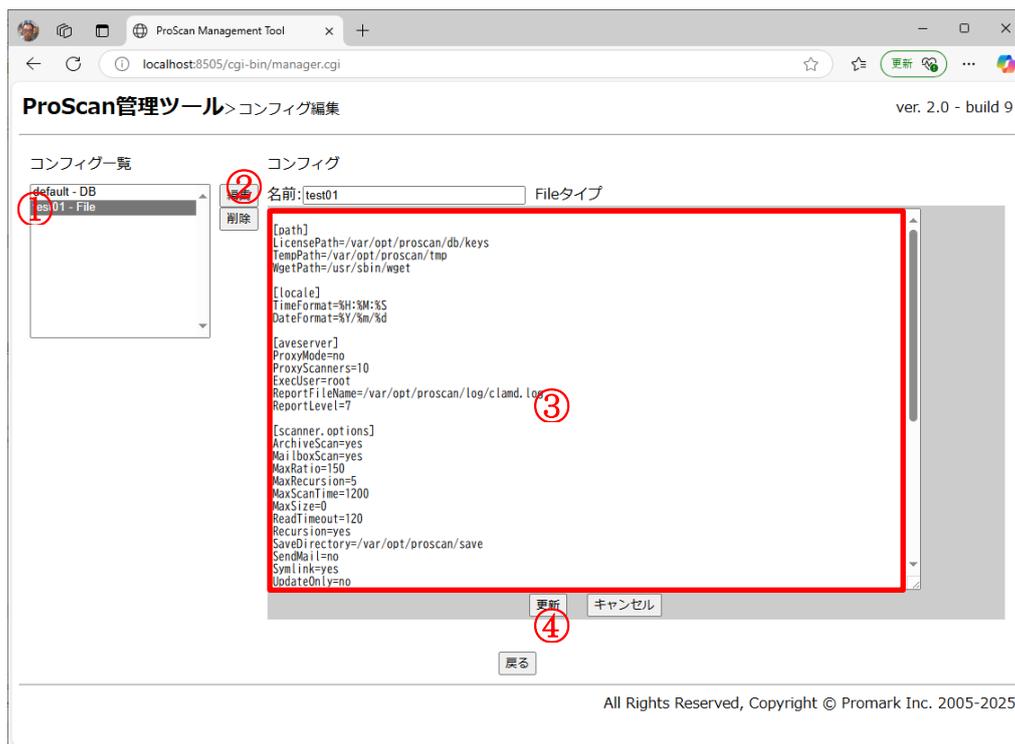
いずれの場合も更新ボタンをクリックすると新しいコンフィグが作成され、左側のコンフィグ一覧に追加されます。



既に作成した設定ファイルを修正するには、コンフィグ一覧から名前を選択し、編集ボタンをクリックします。そうすると、そのコンフィグの設定内容が右側のコンフィグフィールドに反映されますので、必要に応じて内容を修正してください。DB タイプの場合にはフォームが、ファイルタイプの場合にはテキストエリアにコンフィグファイルの内容が出力されています。既に作成済みのコンフィグのタイプを変更することはできません。

その後、更新ボタンをクリックすると新しい内容がセーブされます。

【内容を編集する場合】



- ①名前を選択
- ②編集ボタンをクリック
- ③内容を修正
- ④更新ボタンをクリック

【DB タイプの例】

The screenshot shows the ProScan Management Tool interface for a DB type configuration. The configuration name is 'default'. The configuration content is displayed in a text area, with a red box highlighting it. The configuration content includes sections for [スキャンオプション] (Scan Options) and [アクション] (Action). The [スキャンオプション] section includes fields for 'スキャンタイムアウト値' (Scan Timeout Value), '最大許容多重圧縮度' (Maximum Allowed Multiple Compression Degree), '最大許容アーカイブサイズ' (Maximum Allowed Archive Size), '最大許容圧縮率' (Maximum Allowed Compression Rate), 'ソケット読み込みタイムアウト値' (Socket Load Timeout Value), '除外ファイルパターン' (Excluded File Pattern), and '対象ファイルパターン' (Target File Pattern). The [アクション] section includes a dropdown menu for 'アクション' (Action) and a text input for 'ログファイル' (Log File). The [レポートファイル] (Report File) section includes a text input for 'レポートファイル' (Report File) and a list of checkboxes for 'レポート内容' (Report Content). The [更新ファイルのみスキャン] (Scan Only Updated Files) checkbox is checked. The [キャッシュチェック] (Cache Check) checkbox is unchecked. At the bottom, there are buttons for '更新' (Update) and 'キャンセル' (Cancel).

削除を行う場合には、コンフィグ一覧より削除したい名前を選び、削除ボタンをクリックしてください。設定内容が削除されます。

DB タイプで設定できる項目と ProScan の設定パラメータの関係を以下に示します。

[scanner.options] セクションのパラメータ

スキャンタイムアウト値: MaxScanTime

最大許容多重圧縮度: 未使用

最大許容アーカイブサイズ: MaxSize

最大許容圧縮率: 未使用

ソケット読み込みタイムアウト値: ReadTimeout

更新ファイルのみスキャン: UpdateOnly

キャッシュチェック: CacheCheck ※キャッシュ DB を利用するか同課の設定

[scanner.object] セクションのパラメータ

除外ファイルパターン: ExcludeMask

対象ファイルパターン: IncludeMask

アクション: MatchAction

[scanner.report] セクションのパラメータ

ログファイル: ReportFileName

ログ内容: ReportLevel 通常=7、詳細=31、アラートのみ=8 を設定

[scanner.display] セクションのパラメータ

レポートファイル: OutputFileName

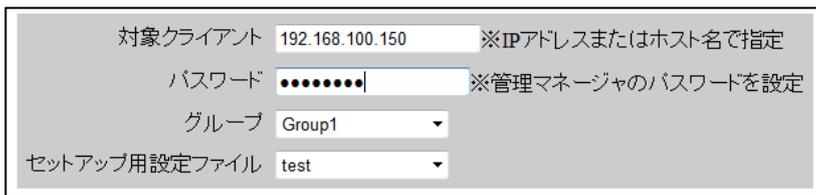
レポート内容: ShowLevel バージョン、パラメータ=2、結果サマリ=4、チェック情報=8、詳細情報=256 チェックされた値を加算したものを設定

5.6 アクティベーション

ProScan サーバにエージェントをインストール後、このアクティベーション処理を行うことで、管理対象として PSMT に組み込まれます。



対象となるクライアントの IP アドレスまたはホスト名 (ホスト名で指定する場合には、hosts ファイルに記入する等、名前解決ができる必要があります。)を指定し、管理マネージャのパスワード (クライアントにパスワードを送るため) とグループ、セットアップ用設定ファイルを指定し、アクティベーションボタンをクリックします。グループを省略した場合には、グループ未登録の状態ですべてアクティベーションされます。セットアップ用設定ファイルを指定しない場合には default が使用されます。



アクティベーションが完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。

アクティベーションが完了しました

失敗した場合には赤字でメッセージが表示されますので、以下の表に従って対応を実施してください。

【アクティベーション時のエラーと対処方法】

メッセージ	原因	対処方法
パスワードが正しくありません	パスワード間違い	正しいパスワードを設定する
アクティベーションに失敗しました エージェントが起動していないか ネットワークに問題があります	agent プログラムと通信できない	PSMT と agent 間の通信経路上に問題があるので、正しく通信できるようにする
アクティベーションに失敗しました エージェント側に問題があります	agent プログラムに問題がある	active コマンドでない別のコマンドが送信されているので、サポートへ連絡してください。
アクティベーションに失敗しました すでにアクティベーション済みです	アクティベーション済み	アクティベーション済みなので、エージェント側の設定をクリアしてください。
アクティベーションに失敗しました エージェント側でコマンドが認識できません	アクティベーションコマンド間違い	コマンドを正しく認識している可能性があるため、agent 側のログを確認してください。
アクティベーションに成功しましたが セットアップに失敗しました(n1,n2,n3) 個別にセットアップを行ってください	setup コマンドに失敗	n1:コンフィグ設定、n2:グループ設定、n3:ライセンス設定の結果が示されていますので、0以外の設定を調べてください。アクティベーションは実施されているので、エラーを取り除いた後に個別に setup コマンドを実行すれば対処可能です。

エラーの場合には、ProScan 側のエージェントが起動しているか、既にアクティベーションされていないかエージェントのログ等で確認をお願いします。エージェントのログは以下となります。

```
/var/opt/proscan/log/psmt_agent.log
```

正しいアクティベーションのログは以下の通りです。

```
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] Agent Starting ...  
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] Could not open manager file.(/opt/proscan/agent/data/manager.dat) errno=2  
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] not regist manager(192.168.167.83)  
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] command:active 192.168.167.83 psmtadmin  
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] [CMD] OK manager registration complete  
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] send packet [OK manager registration complete]  
[2023/09/08 01:08:02]-[175607] command:quit 192.168.167.83
```

もし、原因が判断付かない場合には、これらのログをプロマークテクニカルサポートまでお送りください。

もし、アクティベーション後のセットアップでエラーが発生している場合には、終了コードの内容で失敗したセットアップ処理を再度実施してください。

3 つの終了コードが表示されますが、コンフィグ設定、グループ設定、ライセンス設定の順にそれぞれの処理の終了コードとなっています。0 以外の設定処理にエラーが発生していることを示していますので、そちらの処理を再度実施してください。例えば、上記例では(0, 0,256)となっていますので、ライセンスの反映処理に問題があったことがわかります。ライセンスファイルのアップロードが済んでいるか等、ライセンス周りに問題がないか確認をしてください。

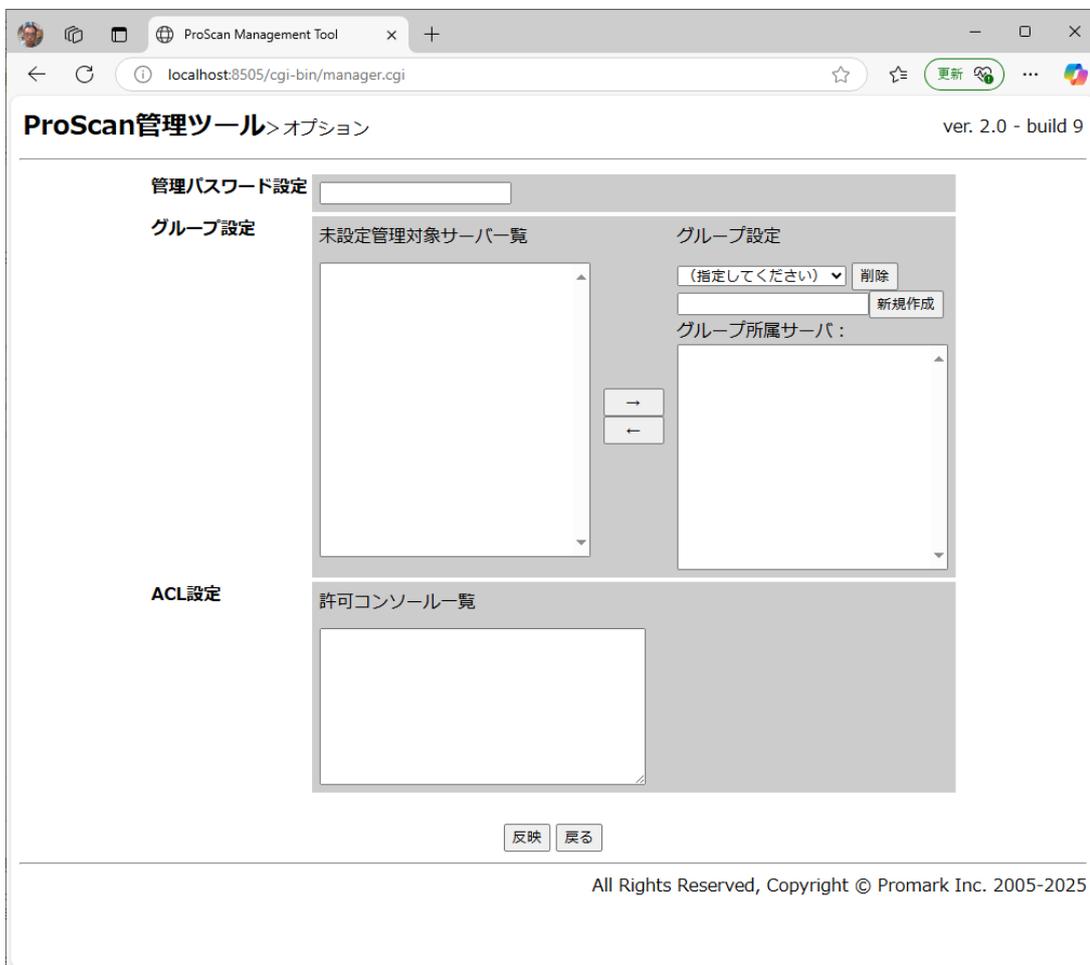
エラーの原因を取り除いたら、エージェントに登録された PSMT マネージャの情報を削除してから再度アクティベーションを実施してください。削除を行わないとエージェント側では既に登録されていると認識されてアクティベーションできません。必ず、以下の操作を行ってから再アクティベーションを実施してください。

```
rm /var/opt/proscan/agent/data/manager.dat
```

5.7 オプション

オプションとしては以下の設定が可能です。

- ・管理パスワード設定
- ・グループ設定
- ・ACL 設定



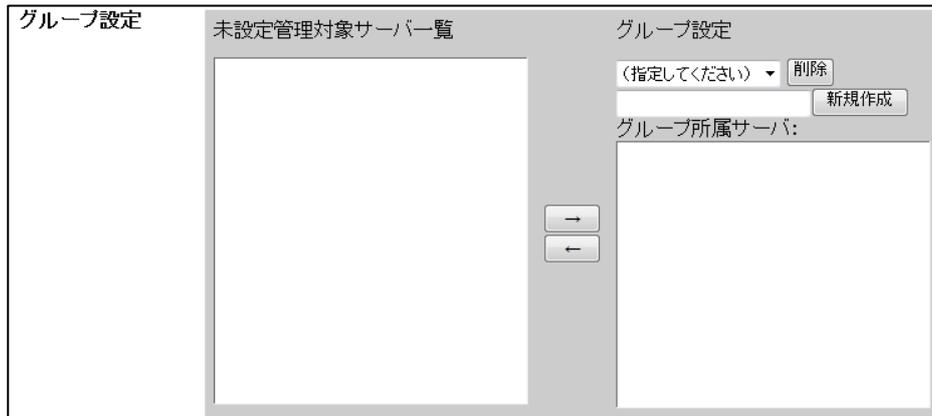
5.7.1 管理パスワード設定

エージェントがPSMTと通信を行うためのパスワードの設定を行います。初期値は、インストール時に設定したものとなります。このパスワード設定を変更してもPSMTのログインパスワードは変更されません。後述するユーザ管理での変更となります。通常、変更の必要はありません。

設定できるパスワードは72文字以内となります。(DESタイプの場合には8文字以内です)

5.7.2 グループ設定

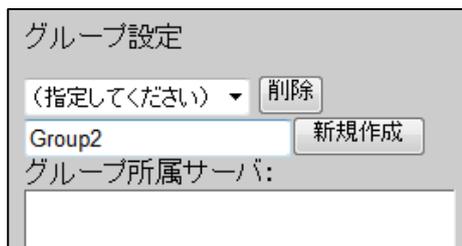
管理対象の ProScan をグループ化する機能です。



アクティベーション時にグループを設定した場合には、初期状態でそのグループに所属しています。アクティベーション時にグループを指定していなかった場合には、左側の未設定管理対象サーバー一覧に表示されています。

【グループの新規作成】

初期状態では、グループはまだ作成されていないので新規作成を行います。グループ設定の新規作成ボタンの左側のフィールドにグループ名(半角の英数字記号のみ)を入力し新規作成ボタンをクリックします。

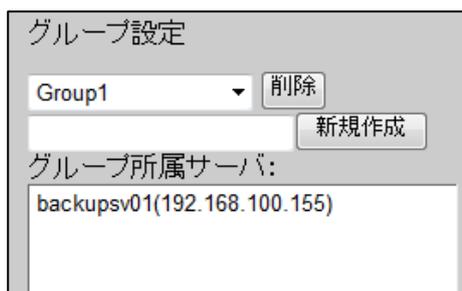


そうすると、プルダウンリストに新しく作成したグループが表示されます。



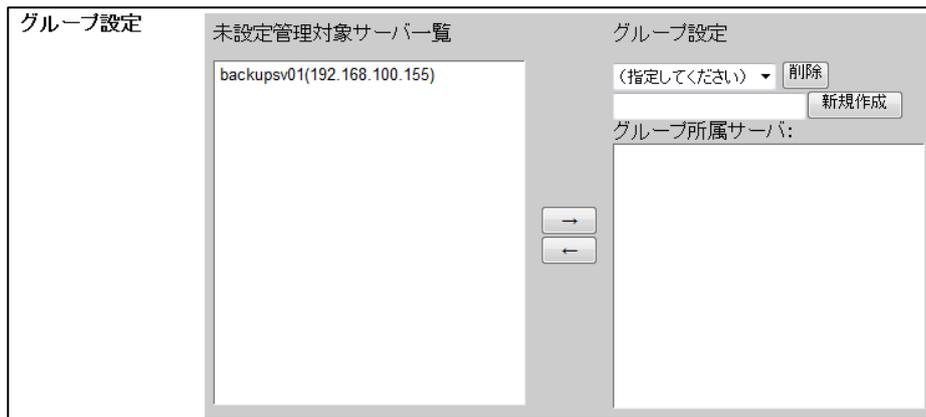
【グループの削除】

グループを削除するには、プルダウンリストから削除したいグループを選択します。



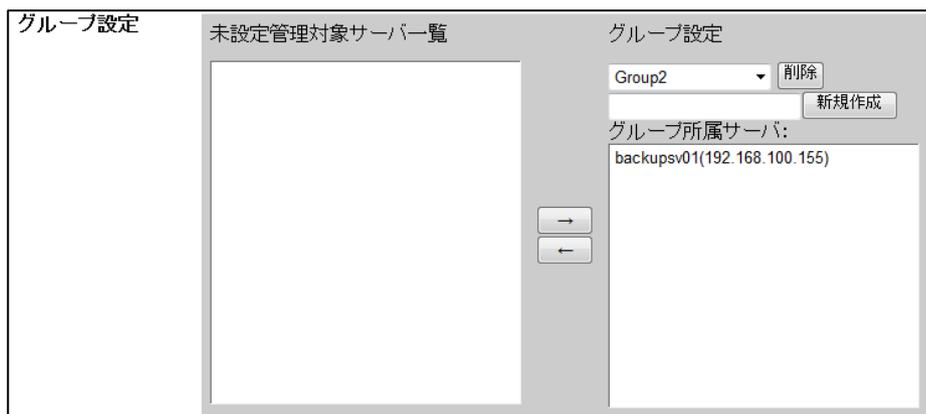
グループ所属サーバにそのグループに所属しているサーバーの一覧が表示されます。削除ボタンをクリックすると、グループの削除が行われます。削除が完了するとこれらのサーバーは、未設定

管理対象となります。



【グループ所属サーバの変更】

サーバのグループを変更する機能です。別のグループに変更する場合には、一旦、グループの所属を解き、未設定にする必要があります。そのうえで、改めて所属させたいグループへ追加します。追加は→ボタンをクリックします。グループから削除する場合には←ボタンをクリックします。



最後に反映ボタンを押すと確定します。

※新規作成や削除はボタンをクリックした時点で処理が完了します。

5.7.3 ACL 設定

PSMT への接続可能端末を制限するための機能です。



許可コンソール一覧に接続を許可する PC の IP アドレスを 1 行に 1 つずつ設定指定下さい。

※この設定を行うと、登録 PC 以外からは一切操作できなくなりますのでご注意ください。

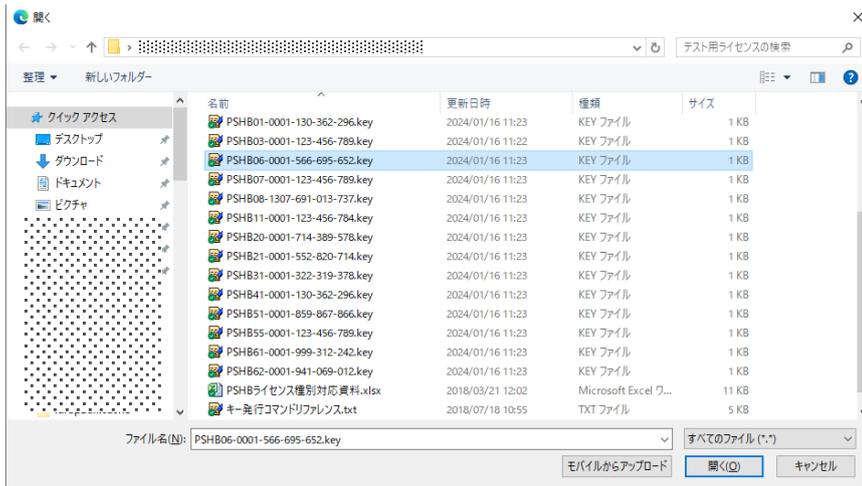
5.8 ライセンス管理

ProScan 用ライセンスファイルの管理機能です。PSMT へライセンスファイルをアップロードし、各 ProScan へライセンスファイルを展開する準備を行います。



PSMT 上にあるライセンスファイルの内容が「現在のライセンス情報」に表示されます。ライセンスの更新期限がきて新しいライセンスに更新する場合に新しいライセンスファイルを PC にセットし、アップロードファイルの指定でそのファイルを設定します。

ライセンスは Power Systems と System x のものが管理可能です。クライアント側は自動的に自分の環境に合うライセンスをダウンロードしますので、混在環境では、両方のライセンスをアップロードしてください。



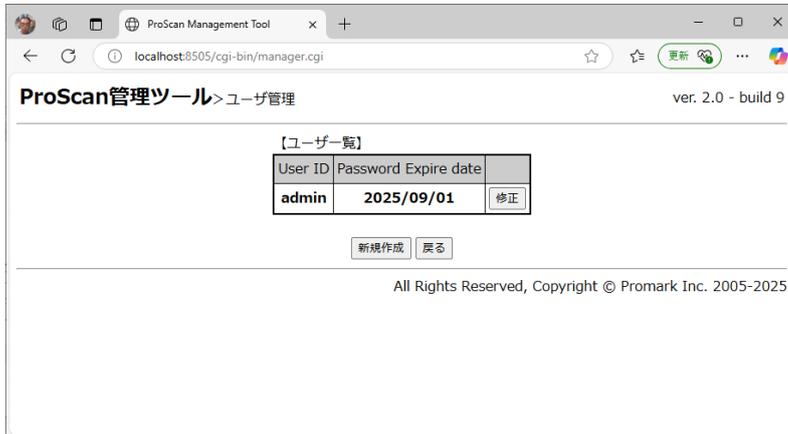
アップロードボタンをクリックするとライセンスファイルがアップロードされます。



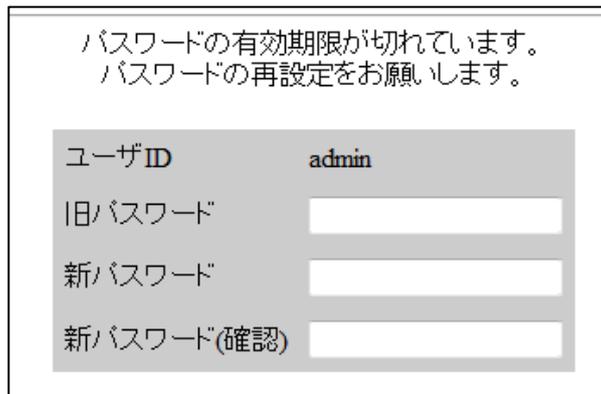
ライセンスファイルのアップロードに失敗した場合は、ログ等で内容を確認してください。

5.9 ユーザ管理

PSMT 利用者を管理する機能です。デフォルトではインストール時に「admin」ユーザのみ作成されます。admin 以外でログインしている場合には、「ユーザ管理」ではなく「パスワード変更」というボタンになり、パスワードの変更のみ可能となります。admin ユーザの場合のみ、他のユーザの作成や変更が可能となります。機能制限の機能はございませんので、登録ユーザはすべての処理が実施可能です。



パスワードの有効期限 (Password Expire date) の設定が可能です。有効期限が設定されている場合、それを過ぎると PSMT が呼び出された時点でパスワード再設定の画面が表示されます。



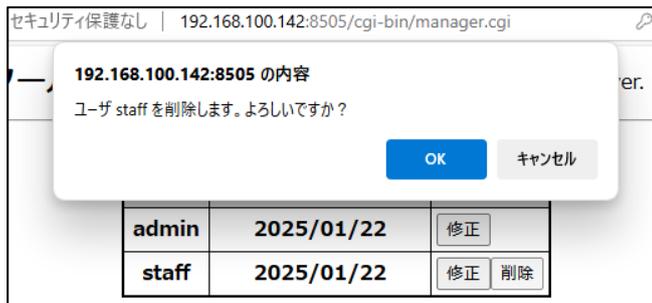
既存ユーザの変更を行う場合には、該当ユーザの修正ボタンをクリックします。



現在のパスワードは必須となっていますので必ず設定してください。パスワードを変更する場合には、新パスワードに変更後のパスワードを(確認欄には同じものを入力してください)設定し、更新ボタンをクリックします。パスワードの有効日数のみを変更する場合には、新パスワード欄は何も設定する必要はありません。設定できるパスワードは 72 文字以内となります。(パスワードのタイプが DES の場合には 8 文字以内となります。)

パスワードを変更した場合、およびパスワード有効日数の変更を行うと、変更日を起点とした有効日数で更新期限も変更されます。

既存ユーザを削除する場合には、削除ボタンをクリックします。確認ウインドウが開きますので、OK ボタンをクリックしてください。

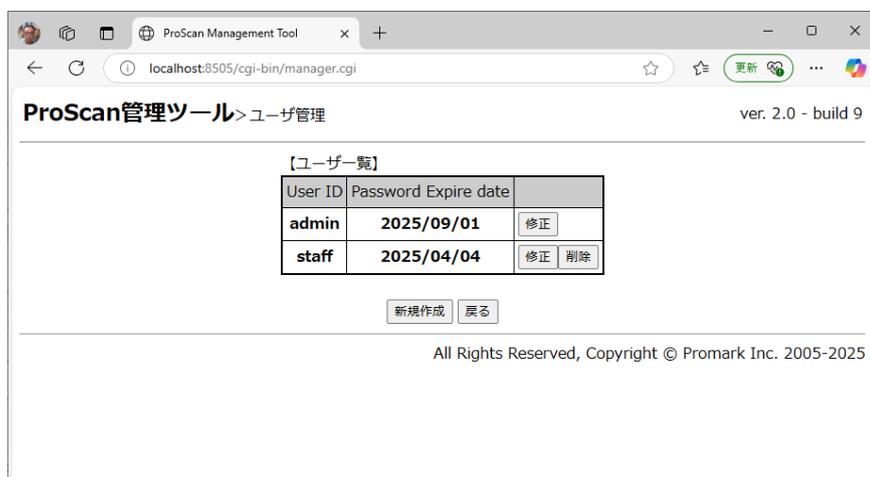


※admin ユーザは削除することはできません。

新たにユーザを作成する場合には、新規作成ボタンをクリックします。



ユーザ ID、新しいパスワード、確認、有効日数を設定して更新ボタンをクリックすると新しいユーザが作成されます。



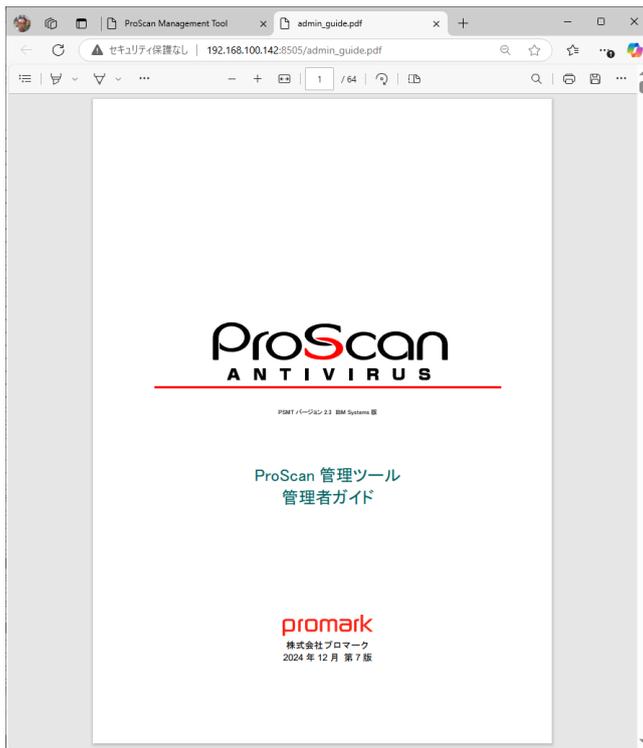
5.10 再表示

PSMT 画面の再描画を行います。最新情報の表示を行う場合に利用します。クライアントへの問い合わせは行いませんので、現在の DB の情報を表示するのみです。クライアントの最新状態を取得する場合には、「最新情報を取得」機能で行ってください。

5.11 管理者ガイド

管理者ガイドボタンをクリックすると、別ウインドウ(または別タブ)に管理者ガイドの PDF ファイルを表示します。(本ファイル)

必要に応じてヘルプ代わりにお使い下さい。



5.12 ログアウト

PSMT からログアウトします。

5.13 ロールバック

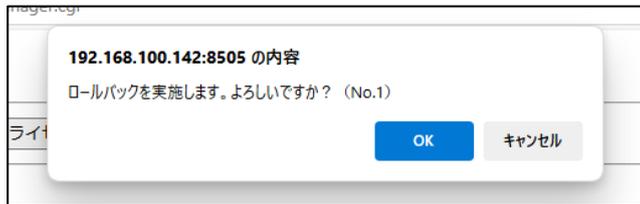
ProScan モジュール、スキャンエンジン、VDF のアップデートパッケージはロールバック可能な 3 世代分のバックアップを持っています。(それに加えて 5 世代のアーカイブを保存しています。アーカイブは手動でロールバックする必要があります。)ロールバック機能はそれぞれの世代に状態を戻すことが可能です。(現バージョンでは VDF のみロールバック可能となっております。)

【バックアップ・マスタ情報】					
Action	No.	ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest
<input type="button" value="ロールバック"/>	1	6.0.6.10	0.103.4	27496	2024/12/23 03:54:49
	2				
	3				

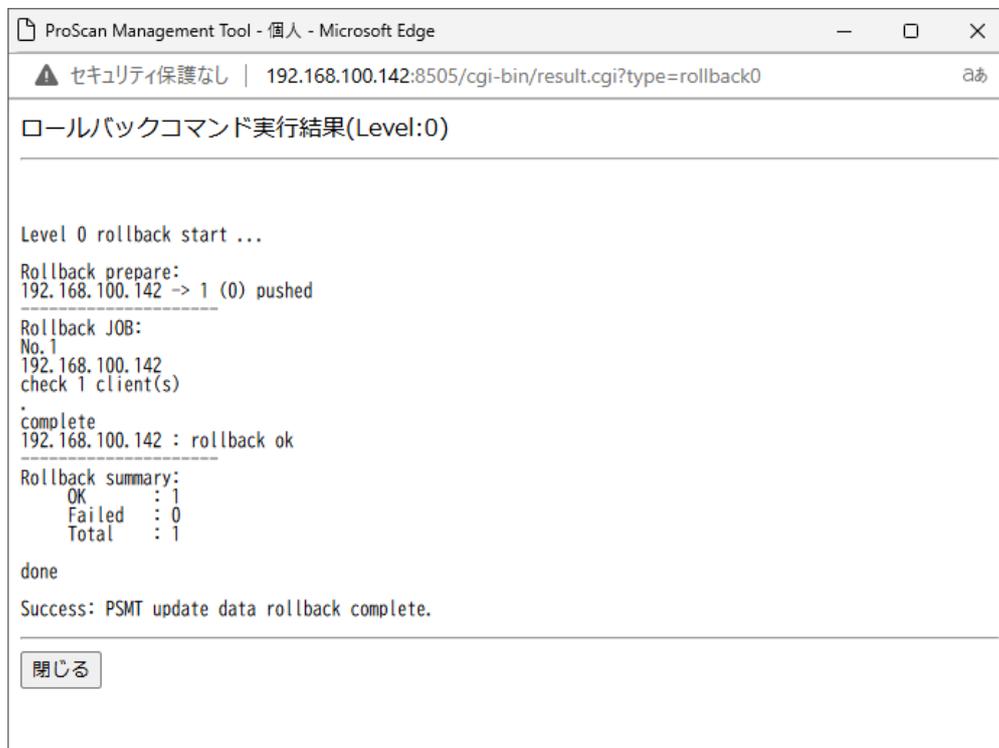
ロールバックを指示すると、以下のような処理が実施されます。

- ① 管理対象をリスト化します。
- ② クライアントへ送るロールバックファイルの準備をします。
- ③ 全管理対象へ rollback コマンドを送ります。
- ④ PSMT 上のアップデートデータをロールバックします。

ロールバックボタンをクリックすると、確認ウインドウが表示されます。



OK ボタンをクリックするとロールバック処理がスタートします。処理中の様子が、ウインドウに表示されますので、内容を確認し問題があれば該当サーバ(ProScan)の状態を確認してください。



ロールバックは、/var/www/manager/data/update_list.csv ファイルに書かれている対象リストに対して実行されます。この CSV ファイルの書式は以下のように“IP アドレス,番号”となっています。

```
192.168.100.155,1
192.168.100.156,1
192.168.100.157,1
```

番号はグループ番号で、このグループ単位に処理を行います。台数が多い場合に、この番号で事前にグループ分けを行い、処理が集中することを避けることができます。

なお、このファイルが存在しない場合には、現在対象となっているすべての ProScan をこのファイルにリスト化して実行します。

【実行結果の見方】

```
Level 0 rollback start ... ①

Rollback prepare:②
192.168.100.142 -> 1 (0) pushed
-----
Rollback JOB:
No.1
192.168.100.142
check 1 client(s)
.
complete
192.168.100.142 : rollback ok ③
-----
Rollback summary:④
    OK      : 1
    Failed  : 0
    Total   : 1

done

Success: PSMT update data rollback complete
```

- ①スタートメッセージ…どのレベルのロールバックを行ったか表示します。
- ②準備…対象となるサーバの IP アドレスが表示されます。'->'の後の数字はグループ番号になります。()内の数字は、状態を示します。(0 は処理待ち、1 は処理済み、2 はエラー)pushed となっているサーバが実際の処理対象になります。
- ③実行…No.が対象のグループで対象のサーバの結果が IP アドレスとともに表示されます。ok 以外の timeout や failed が表示されたサーバは、サーバ側のログを確認してください。
- ④サマリ…結果が表示されます。OK と Total が一緒にならないとロールバックが成功したとみなされず、PSMT 側のロールバック処理が行われません。

※ロールバックはすべての ProScan を指定のバージョンに戻す機能です。個別のサーバをロールバックするには、コントロール画面から実施する必要があります。

5.14 一覧表示

PSMT のトップ画面には、管理対象となっているサーバの一覧が表示されています。

【管理サーバ一覧】 LastUpdate:2013/04/15 09:48:12										
No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
										絞り込み
1	backupsv01 (192.168.100.155)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:09	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
2	backupsv02 (192.168.100.156)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:36	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
3	backupsv03 (192.168.100.157)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:22:54	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
4	backupsv04 (192.168.100.158)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:23:02	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
5	backupsv05 (192.168.100.159)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:24:29	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
6	backupsv06 (192.168.100.160)	Group1	●	6.0.5.2	0.97.7	16928	2013/03/30 15:24:45	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
7	backupsv07 (192.168.100.161)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:24:59	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
8	backupsv08 (192.168.100.162)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:25:15	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
9	backupsv09 (192.168.100.163)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:25:03	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
10	backupsv10 (192.168.100.164)	Group2	●	6.0.5.2	0.97.7	16922	2013/03/30 15:25:39	●	2013/03/29 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control

表示されている項目は以下の内容となっています。

項目名	内容
No.	サーバの通番
Host	ホスト名と IP アドレス
Group	グループ名
Status	ProScan の状態(バージョンで緑、黄色、赤の●印)
ProScan version	ProScan のプロダクトバージョン
Engine version	ClamAV のエンジンバージョン
VDF version	VDF のバージョン
Latest update	最終更新日時
Scan	最終スキャンの状態(アラートがあった場合は赤●)
Last Scan Time	最終スキャン日時

項目名の脇にある上下の三角マークは並べ替えの状態を表しています。▼印が昇順、▲印が降順となります。項目名をクリックすることでその項目で並べ替えを行います。

項目名の下にあるフィールドは絞り込みのための条件を設定します。このフィールドに条件を指定して絞り込みボタンをクリックすると、その条件での絞り込みが行われます。絞り込みを行った場合には、リストの表示がクリーム色になりますので、現在の表示が、すべてを表示しているのか、絞り込んだ結果を表示しているのかすぐにわかるようになっています。

一度に表示可能なサーバの数は CGI で設定可能です。(デフォルトでは 10 サーバです。)それを超える場合には、ページ遷移のためのリンクが表示されます。

5.14.1 絞込み機能

管理サーバの一覧表示は、各表示項目で絞り込みを行うことが可能です。

No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
										絞込み

項目の下にある、フィールドに文字列を入力(プルダウンリストの場合は選択)して、絞込みボタンをクリックすると、抽出処理を行い該当サーバのみ一覧表示します。

例えば、VDFバージョンが 16911 のものだけを抽出する場合は以下のようになります。

【管理サーバ一覧】 LastUpdate:2013/04/15 10:04:57

No.	Host ▲	Group	Status	ProScan version	Engine version	VDF version	Latest update	Scan	Last Scan Time	Control
						16911				絞込み
1	backupsv18 (192.168.100.172)	Group3	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:12:04	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
2	backupsv19 (192.168.100.173)	Group3	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:12:31	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
3	backupsv20 (192.168.100.174)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:22:45	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
4	backupsv21 (192.168.100.175)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:32:48	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
5	backupsv22 (192.168.100.176)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:32:55	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
6	backupsv23 (192.168.100.177)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:42:19	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
7	backupsv24 (192.168.100.178)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:42:24	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
8	backupsv25 (192.168.100.179)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:42:25	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control
9	backupsv26 (192.168.100.180)	Group4	●	6.0.5.2	0.97.7	16911	2013/03/25 12:42:56	●	2013/03/24 21:53:45->21:53:46(00:00:01)	control

絞込み中は、リストがクリーム色になっています。この状態を解除するには再表示ボタンをクリックしてください。

絞り込んだサーバに対して一括処理を行うことが可能です。絞込みボタンの上にある Control ボタンをクリックすると、対象となっているサーバの一覧とともに処理を選択できるウィンドウが表示されます。



ここでは、以下の処理を行うことが可能です。

- ・ VDF アップデート
- ・ スキャン処理
- ・ コンフィグ反映
- ・ ライセンス更新
- ・ アップグレード

それぞれの機能は、既に説明していますが、対象が/var/www/manager/data/target_list.txt になることだけが変わります。例えば、上記例では target_list.txt は以下のようになっています。

```
# cat /var/www/manager/data/target_list.txt
backupsv18
backupsv19
backupsv20
backupsv21
backupsv22
backupsv23
backupsv24
backupsv25
backupsv26
```

5.14.2 クライアント管理機能

一覧表示している各サーバの右端にある **Control** ボタンをクリックすると、各サーバの情報やコマンド発行のウィンドウが表示されます。



ホスト名、IPアドレス、グループ名、状態、バージョンの各情報とオンデマンドコマンド発行ボタン、アップグレード、ディアクティベーションのボタンです。

状態表示では、バージョンに関する状態と直近のスキャンに関する状態が緑、黄、赤の状態で見られています。

色	バージョン	スキャン
緑	すべて最新版	成功
赤	すべて古い	アラートファイルが存在
黄	一部古いものがある	スキャン未実施

緑以外の場合には、その内容を調査し対応をする必要があります。

スキャンの状況は「スキャン結果確認」ボタンをクリックすると、直近のスキャン結果のログが確認できます。

```

localhost:8505/cgi-bin/scanlog.cgi?ip=192.168.19.87 - 個人 - Microsoft Edge
localhost:8505/cgi-bin/scanlog.cgi?ip=192.168.19.87
ProScan File scanner Ver. 6.0.6.0 starting...
All Rights Reserved, Copyright(C) 2003-2024 Promark Inc.
ProScan version -----
version      : 6.0.6.0
engine version : 1.0.7
VDF version  : 27533
-----
File scan setting -----
log level    : 7
directory scan : yes
symlink scan : yes
scan level   : 7
action       : delete
save directory : /var/opt/proscan/save
show level   : 15
report address :
mail send cond : alert
output       : /var/opt/proscan/tmp/scan.log
exclude mask :
include mask :
update only  : no
executable only : no
cache check  : no
-----
File scan start -----
Current working directory : /

Scan Path 1 : /tmp

scan results -----
directories : 7
files      : 6
alerts     : 0
infected   : 0
protected  : 0
errors     : 0
delete     : 0
move       : 0
exclude    : 0
-----
start time : 22:15:32
end time   : 22:15:32
scan time  : 00:00:00
-----

```

scan results の alerts 数が 0 であれば OK です。

オンデマンドで実行できる機能は 5 つです。

機能	内容
VDF アップデート	パターンファイルのアップデートコマンドを発行します。最新の情報が右側のフィールドに表示されています。
ロールバック	3 つのバックアップファイルから指定のものをリストアします。
スキャン実施	スキャン対象として指定したファイルまたはディレクトリをスキャンします。直近のスキャン日時がその下のフィールドに表示されています。
コンフィグ反映	登録済みの設定ファイル、あるいはファイル指定で直接設定ファイルを ProScan サーバに送ります。
ライセンス更新	事前に登録済みのライセンスファイルを ProScan サーバに送ります。右側のフィールドには現在のライセンスの更新期限が表示されています。
スケジュール変更	自動アップデートの設定を行います。設定済みの場合、その情報が右側のフィールドに表示されています。

各機能の詳細について説明します。

① VDF アップデート

ProScan サーバにアップデートコマンドを送ります。ProScan サーバ側では、proscanup コマンドを実行し、結果を PSMT へアップロードします。

② ロールバック

ProScan サーバにロールバックコマンドを送ります。ProScan サーバ側では、バックアップファイルダウンロードして、VDF をロールバックします。

③ スキャン実施

ProScan サーバにスキャンコマンドを送ります。スキャン時のコンフィグファイルは PSMT で設定したものが使われます。スキャンのログとともに、結果が PSMT へアップロードされます。

④ コンフィグ反映

スキャン用のコンフィグファイルを ProScan サーバに送ります。このコンフィグファイルの内容でスキャンが実施されます。

⑤ ライセンス更新

PSMT に登録したライセンスファイルを ProScan サーバに送ります。

⑥ スケジュール変更

ProScan サーバの自動アップデートのタイミングを指定した時間に更新します。

6 自動処理

PSMT から実行する以外にアップデートやスキャンを自動で定期的に処理したい場合があると思います。その場合には、通常の ProScan の設定は使わず、以下のように行って頂くと PSMT との連携が取れるようになります。

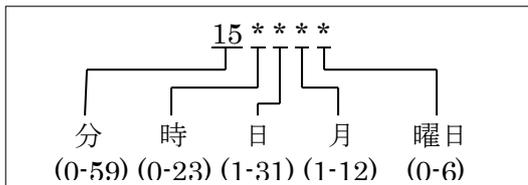
6.1 定期アップデート

ProScan インストール時には、自動的に cron.hourly にアップデート用の cron スクリプト (proscan_update) が組み込まれます。(但し、アップデートサーバへの接続が可能な場合のみ)

しかしながら、この方法で組み込むと PSMT での管理ができません。PSMT での管理を行う場合には、PSMT 上でスケジュール設定を行います。(24 ページ、4.5 スケジュール変更を参照)

スケジュール変更	アップデート: 15****	※cronへのスケジュール設定スタイルで指定
	定時スキャン: 0 12****	※cronへのスケジュール設定スタイルで指定
	スキャンPath: /tmp	

スケジュール変更のアップデートのフィールドに crontab への設定方法と同じパラメータを指定します。



ここで指定した内容は、ProScan が動作するサーバ上の /etc/cron.d/proscan.cron ファイルに書かれます。このファイルが更新されると、システムが自動的に再読み込みし、crond への反映処理を行います。/var/log/cron を参照すると以下のような記録があるので正しく反映されていることが確認できます。

```
Oct 31 22:33:01 power crond[27564]: (*system*) RELOAD (/etc/cron.d/proscan.cron)
```

6.2 定時スキャン

スキャンのスケジュールリングを行うには、「定時スキャン」「スキャン Path」に設定を行います。(上記参照) 定時スキャンの項目には 6.1 項と同じように crontab への設定方法で起動時刻を指定します。同時に、スキャン Path のフィールドにスキャンを実施するディレクトリを指定します。このフィールドに何も設定しないとデフォルトで「/tmp」が設定されます。複数指定する場合には、空白で区切って設定します。

付録 A. AIX サーバへのインストール準備

AIX サーバへ PSMT をインストールするには Linux サーバとは異なる準備が必要となります。

特に Web サーバ周りで以下の準備が必要となります。

- Apache のインストール
- Perl のインストール
- Perl モジュールのインストール

それぞれについて参考になるサイト等をご紹介します。

【Apache のインストール】

①RPM を利用しインストールするのが簡単です。以下 URL よりダウンロードしインストールしてください。

<https://www.ibm.com/support/pages/aix-toolbox-linux-applications-downloads-alpha>

Apache の RPM は httpd パッケージでインストール可能です。依存関係で失敗する場合には、関連するパッケージも一緒にインストールしてください。

<https://public.dhe.ibm.com/aix/freeSoftware/aixtoolbox/RPMS/ppc/httpd/httpd-2.4.46-1.aix6.1.ppc.rpm>

②Apache の設定を行います。デフォルトでは/var/www/htdocs がドキュメントルートになっていますので/var/www/html となるようにシンボリックリンクで対応します。

```
cd /var/www
ln -s htdocs html
```

設定を変更する場合には AIX の Apache の標準である/opt/freeware/etc/httpd/conf/httpd.conf を修正します。

【Perl のインストール】

Perl もバージョン 5.8 以上でないとは動作しませんので AIX 用 Perl パッケージをインストールします。

(Apache 同様 IBM 社提供の AIX 用 RPM パッケージサイトからダウンロードします。)

こちらも依存する関連パッケージも一緒にインストールしてください。

<https://public.dhe.ibm.com/aix/freeSoftware/aixtoolbox/RPMS/ppc/perl/perl-5.30.3-1.aix6.1.ppc.rpm>

【Perl モジュールのインストール】

PSMT では Perl モジュールとして CGI.pm が必要となります。

<http://www.cpan.org/modules/by-module/CGI/CGI-4.50.tar.gz>

①ダウンロードして解凍、展開

```
gunzip CGI-4.50.tar.gz
```

```
tar xf CGI-4.50.tar
```

②Makefile.PL スクリプトを実行して、Makefile を作成

```
perl Makefile.PL
```

③モジュールの作成

```
make
```

④モジュールのインストール

```
sudo make install
```

⑤確認

```
perl -e ,use CGI;
```

同様に OS のバージョンや TL や SP、Perl のバージョンの違いによっては「File::Copy」モジュールが必要となる場合がございます。(クローズド環境でのファイルアップロードのための CGI で利用しています。)その場合には、同様の手順でモジュールのインストールを実施してください。

その他の AIX システムへの設定として以下の注意点があります。

- ・ AIX システムでは PSMT 用の User ID がログインできないように”/bin/false”をログインシェルとして設定します。そのため”/etc/security/login.cfg”の shells パラメータに”/bin/false”を追加する必要があります。
- ・ AIX システムにおいて Web サーバのデフォルト値が”/opt/freeware”になっている場合には、ドキュメントルートをシンボリックリンクしておく必要があります。

付録 B. クローズ環境でのミラーリングデータ取得方法

PSMT をクローズドな環境で利用するには、ミラーリング処理を手動にて実施する必要があります。手順は以下の通りです。

- ① PSMT の設定ファイルにクローズド環境のタイプを設定します。

(/var/www/manager/cgi/config.cgi ファイルの \$master_flag に '2' を設定)

- ② インターネットに接続した PC またサーバを使い、弊社アップデートサーバからミラーリングデータをダウンロードします。ダウンロード URL は以下の通りです。

http://update.promark-inc.com/psmt2.3_update_data.tar.gz

こちらのデータは検証済み VDF をパッキングしたもので、毎日 18 時に公開しております。

- ③ ダウンロードしたデータを PSMT の GUI から反映します。

【ProScan最新情報】

ProScan Version	Engine Version	VDF version	Latest	Action	PSMT Status
6.0.6.10	0.103.4	27501	2024/12/29 17:00:03	アップロード	最新版です

アップロードボタンをクリックすると、以下のようなウインドウが開きアップデートファイルをアップロードすることができます。

Update Data Upload - 個人 - Microsoft Edge

▲ セキュリティ保護なし | 192.168.100.142:8505/cgi-bin/upload.cgi?mode=form

データファイルをアップロードします

psmt2.3_update_data.tar.gzをアップロードしてください。その他の形式のデータは利用できません。

ファイルの選択 ファイルが選択されていません

送信する

2024-12-23 10:37:13

ファイル選択でアップロードしたファイルを選択して送信ボタンで PSMT サーバに送信してください。送信が完了すると以下のような画面となります。

Update Data Upload - 個人 - Microsoft Edge

▲ セキュリティ保護なし | 192.168.100.142:8505/cgi-bin/upload.cgi

データファイルのアップロードを完了しました

「psmt2.3_update_data.tar.gz」ファイルをアップロードしました

反映処理 閉じる

2024-12-23 10:40:39

反映処理ボタンをクリアしてアップロードしたファイルの反映処理を行ってください。



エラーなく処理が完了したらウインドウを閉じてください。エラーが発生した場合には弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

- ④ 反映後、PSMT 上で正しくファイルが更新されていることを確認してください。送信完了した時点でミラーリングを実施した状態と同じものになります。

付録 C. PSMT の概要

① マネージャ

マネージャにはマネージャ関連ソフトをインストールします。マネージャは CGI を利用した Web アプリケーションになっていますので Web サーバが必要となります。

- Web サーバ (Apache2)

OS 標準のものを利用可能です。設定ファイルを読み込ませて PSMT 用として動作させます。サーバのポート番号は自由に設定可能です。(デフォルトは 80 番ポート)

- CGI (perl)

PSMT 用のスクリプトは perl で書かれているので、perl5 が利用できる環境が必要です。OS に標準でインストールされているもので構いません。エージェントの管理は DB (Berkeley DB を利用) で行う。

- マネージャ (アプリケーション)

各クライアントのエージェントと通信するためのプログラムです。バイナリ提供となりますのでアーキテクチャに合わせてものが必要です。コマンドラインから起動してエージェントと通信を行い結果を得ます。マネージャプログラムは CGI または関連スクリプトから呼び出され使用されます。

管理サーバは、各種プラットフォーム (IA サーバ、Z 環境、AIX サーバ等) 上で動作致します。

② エージェント

エージェントは各クライアント (ProScan がインストールされたサーバ) で動作します。エージェントのインストールを行うと、常駐プロセスとして稼働し、PSMT からのコマンドを待ち受けている状態になります。デフォルトの待ち受けポートは 505 番です。

エージェントの機能としては以下ようになります。

- デーモン化

- TCP/IP ソケットをオープンし、マネージャからの要求を待つ

- 通信パケットを暗号化

- 初期コマンドだけは、暗号化せずに受信

初期化コマンドを受け取った後のシーケンス

→INIT マネージャの keycode

(受信キーで暗号化)

←INITOK 自分の keycode

(エージェントのキーで暗号化)

→ACTIVE

←OK

- 要求に合わせてコマンド (シェルスクリプト) を起動する。

◎アップデートコマンド

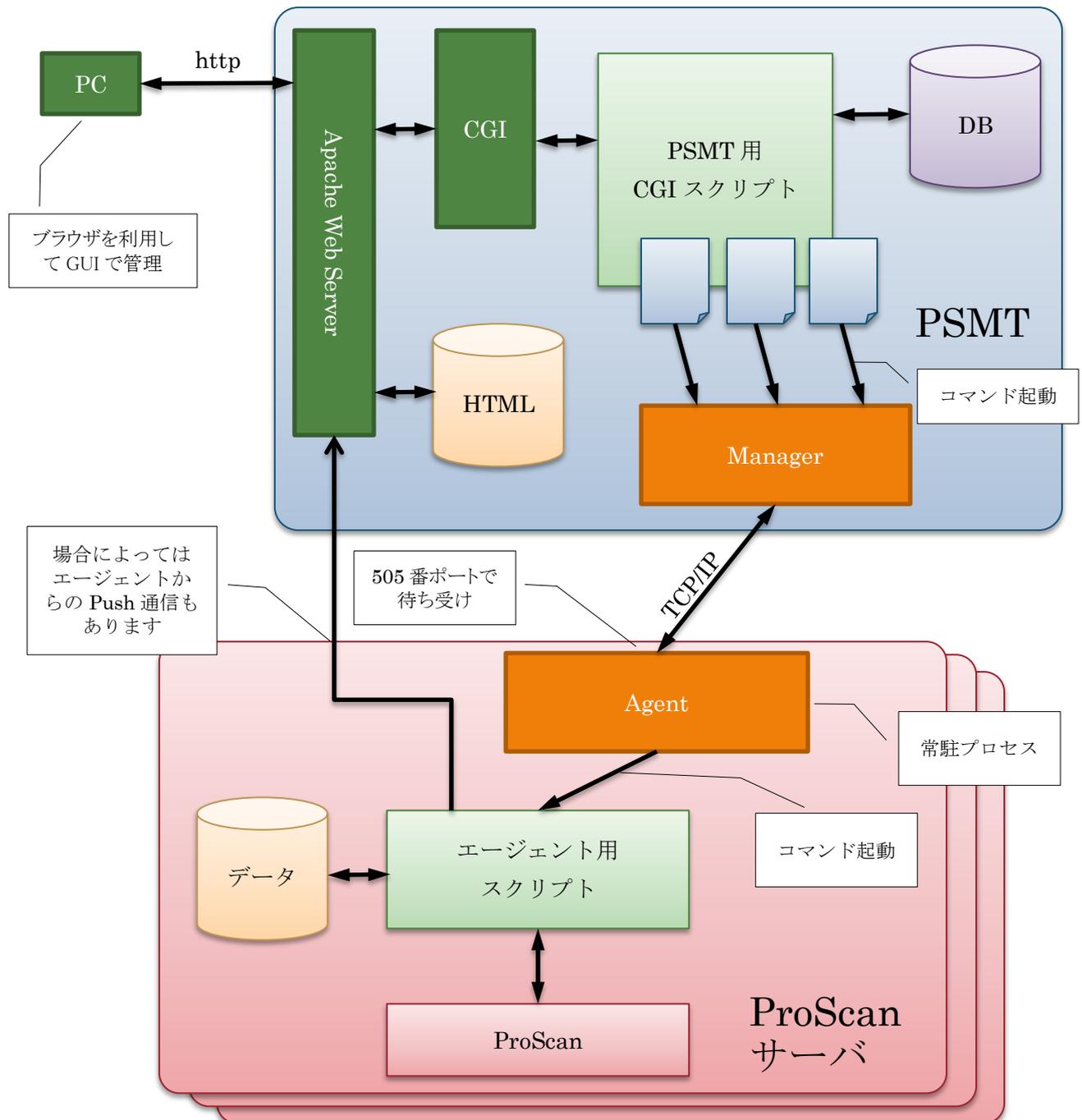
◎ステータス情報送信

◎スキャン実施

◎ロールバック

エージェントは、初期導入時にはアクティベートコマンドのみを受付けます。アクティベートされマネージャに認識されると、以降、ProScan のコントロールが可能となります。

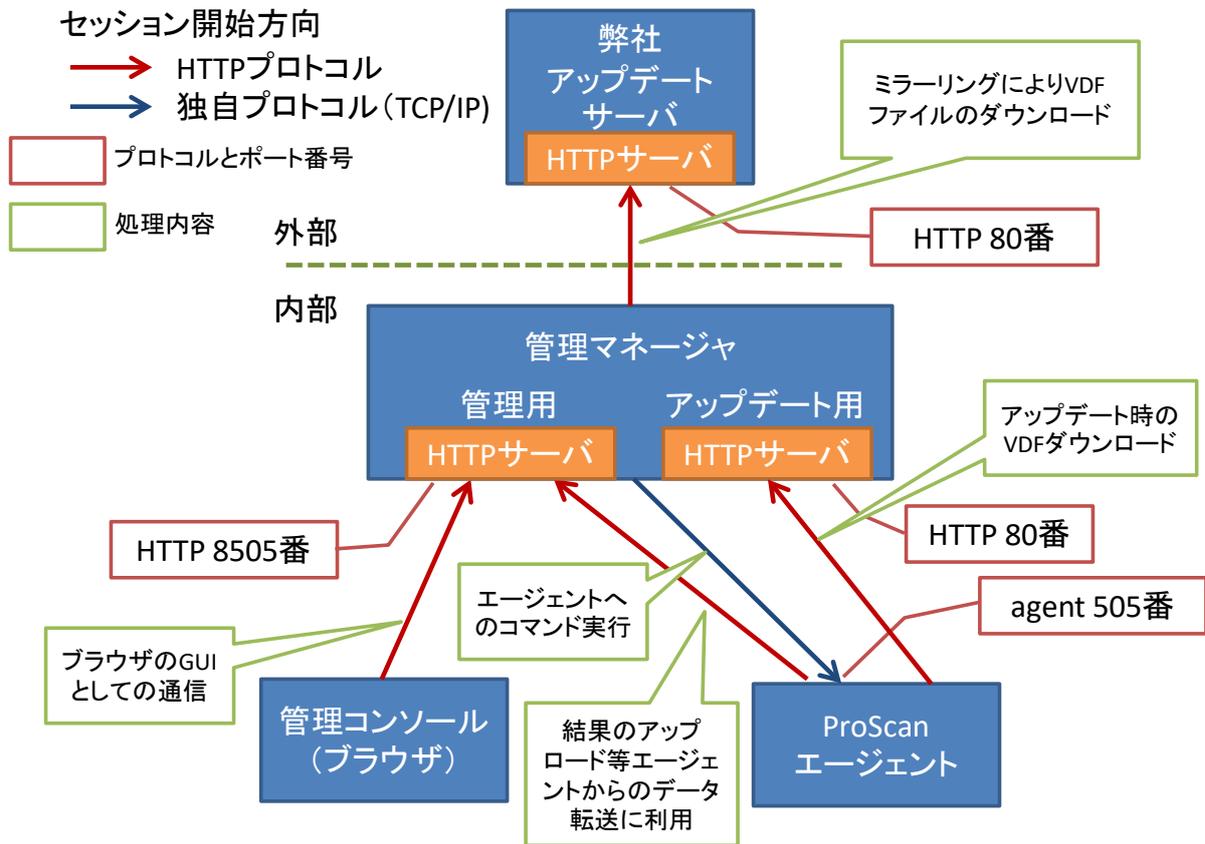
PSMT～マネージャ～エージェントの関係を以下に示します。



Manager と Agent は常に Manager 側からアクションを行うため、Agent が常駐している必要があります。Manager は Agent を指定して接続を行い、コマンドを発行します。

付録 D. プロトコル概要

管理マネージャとエージェントとの通信について



付録 E. 推奨サーバスペック

CPU コア数 : 2 コア以上

メモリ : 8GB 以上

HDD : 10GB 以上の空きスペース (PSMT、PUM の使用量)

※OS や Apache 等のソフトウェアの容量は除く

付録 F. お問い合わせ先

ご質問やご意見がございましたら、代理店またはプロマークにご連絡ください。製品のインストールや管理について、どのようなことでもEメールにて承ります。お送りいただいたご意見やご提案は、弊社にて十分に検討いたします。

テクニカル サポート	テクニカル サポートの詳細については、 http://www.promark-inc.com/index.html をご覧ください。
その他、製品やサービスに関する お問い合わせ窓口	現在のところ電子メールによるお問い合わせのみです。 Eメール： support@promark-inc.com

ProScan Management Tool 2.0

管理者ガイド 第9版

発行日 2025年3月7日

作成元 株式会社プロマーク

promark

株式会社プロマーク